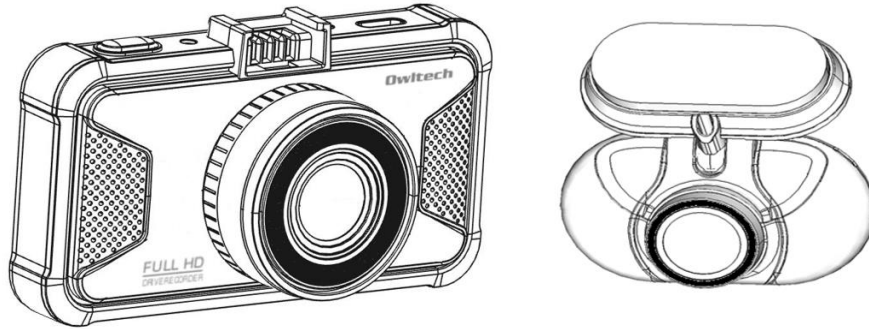


ドライブレコーダー OEC-TY802FG-2C 取扱説明書

【保証書付】

このたびは弊社ドライブレコーダーをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品を正しくお使いいただくために、ご使用前に必ず本説明書をご一読ください。また本説明書の末尾に保証書が付いておりますので、ご購入された年月日が特定できるレシートなどと共に、紛失しないよう大切に保管してください。



特徴

- 本製品はフロント・リアのカメラに FHD (1920 × 1080p) の高解像度と、フロント F1.4、リア F1.8 の明るいレンズを搭載。SONY 製 CMOS イメージセンサー (フロント STARVIS™/リア Exmor™) との組み合わせにより、夜でも明るくノイズの少ない鮮明な映像を記録することができます。
- GPS 衛星と、日本の人工衛星である「みちびき」に対応。「みちびき」は日本の上空に滞在しているため、より高精度な測位が可能となります。
- 日時情報を GPS 衛星や「みちびき」から自動取得できるため、日付や時刻を設定する必要がありません。また日時情報を映像と共に記録として残すことができます。
- G センサーを搭載し、衝撃時の映像をマイクロ SD カードのイベントフォルダに保存します。
- WDR (ワイドダイナミックレンジ) 技術で、逆光やトンネル出入口など明暗差の大きなシーンでも最適な露出で撮影できます。(フロント・リアカメラに対応)
- フロント・リアカメラともに LED 信号機消滅問題対策済みです。日本全国どこでも安心してご使用できます。
- 地デジ電波妨害対策済みです。地デジ放送に影響を与えにくいノイズ対策を行っています。
- 録画開始を音でお知らせし、画面を見ることなく録画開始がわかります。
- 録画時にドライブ中の音声は録音をせず、事故時など衝撃を検出したときだけ音声録音を行う「プライバシーオート録音機能」搭載で、プライバシーを守りつつ肝心な事故時の音は逃しません。
- 専用の駐車監視ケーブル (別売) を使用することで、エンジン停止後に駐車監視を行うことができます。
- 「SD カード定期メンテナンス機能」搭載で、マイクロ SD カードの定期的なメンテナンスを促すメッセージの表示や自動でマイクロ SD カードのフォーマットが行えます。
- ドライブレコーダー本来の機能を追求し、必要機能を充実させつつメニューをシンプルにすることで操作性が向上しています。



⚠ もしも事故が発生した場合




事故の程度に関わらず、事故発生時は記録されたデータが上書きされないように、必ずマイクロ SD カードを抜いて保管および、データのバックアップを行ってください。マイクロ SD カードを抜き取る際は、必ず本製品の電源をオフの状態で行ってください。電源オンのまま抜き出すとデータ消失の恐れがあります。

はじめに

- 付属品をご確認ください。（準備ページの『1.1パッケージ内容』（6ページ）をご確認ください。）
- 本製品および本説明書は予告なく外観または仕様の一部を変更することがあります。最新の情報は弊社Webサイト（<https://www.owltech.co.jp>）を参照してください。本説明書に掲載している画面やイラスト・写真などは、実際の製品と異なる場合があります。
- 本説明書の内容については万全を期して作成しておりますが、万一ご不明の点や誤りなどお気づきのことがございましたら弊社サポートセンターにご連絡ください。
- 万一本製品使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求、自然災害による損害についても、弊社では一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
- 本製品のご使用や故障、修理等によって生じた損害、および記録された映像やデータの破損や消失による損害および逸失利益等につきましては、弊社では一切の責任を負いかねます。
- 本製品をご使用する前に必ず試し撮りをして、正常に記録されていることを確認してください。
- 本説明書の一部または全部を無断で使用・複写・転載しないでください。
- STARVIS、Exmorはソニー株式会社の商標です。
- 本説明書に記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。本説明書では一部のTMマーク および®マークは明記しておりません。
- ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 製品の仕様、デザイン、および本説明書の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があります。

安全上のご注意（必ずお守りください）

 警告	誤った取扱いをすると「人が死亡するまたは重傷を負うなどの可能性が想定される内容」を示しています。
 注意	誤った取扱いをすると「人が傷害を負う可能性や物的損害などが発生する可能性が想定される内容」を示しています。

	製品の取扱いにおいて注意を促す記号です。
	製品の取扱いにおいて行為を禁止する記号です。
	製品の取扱いにおいて行為を強制指示する記号です。

警告

- 濡れた手で本製品およびアダプタやコネクタに触れないでください。感電や故障などの原因になります。
- 本製品を使用中に発火、過剰な発熱、発煙、異臭などの異常が発生した場合、直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店もしくは弊社サポートセンターにご連絡ください。
- 本製品を使用中に水や液体が入った場合は、直ちにケーブル・コード類を抜き使用を中止してください。発煙や発火、故障の原因になります。
- 本体の分解や改造は絶対に行わないでください。ショートして火災や感電、故障や交通事故等の原因になることがあります。
- 車両への取り付けは、必ず本説明書手順に従って取り付けてください。誤って取り付けると、道路運送車両法違反となるばかりか、交通事故等けがの原因になります。
- 運転者は走行中に本製品の操作をしたり、画面の注視をしたりしないでください。交通事故等の原因になります。マニュアル録画や設定変更などを行う際は、必ず安全な場所へ停車してから操作してください。
- 小さなお子様や乳幼児の手の届く場所での使用や保管はしないでください。ケーブル・コードが首などに巻きついたり、小さな部品を誤飲するなど、事故や傷害の原因になります。特に、マイクロSDカードの取り扱いには十分ご注意ください。

注意

- 火気のそばでの使用や保管はしないでください。本体の変形や故障の原因になります。
- コネクタに汚れやほこりが付いている場合は、乾いた柔らかい布でよく拭き取ってから使用してください。火災や故障の原因になります。
- コネクタに無理やり押し込まないでください。コネクタの破損やショートの原因になります。
- 本製品を無理に引っ張ったり、折り曲げたり、上に重いものを載せたりしないでください。また、強い衝撃を与えたり、投げたりしないでください。故障の原因になります。
- 本体・リアカメラコード・シガープラグコードは、エアバッグ等の妨げにならないように取り付けてください。エアバッグ等の動作不良やけがの原因になります。
- 長期間ご使用にならないときは、シガープラグコードを抜いてください。
- 本製品は日本国内でのご使用を目的として販売しており、日本国外でのご使用は保証対象外となります。
- 本製品付属のシガープラグコードは本製品専用です。弊社他製品・他社製品には使用しないでください。また弊社他製品・他社製品のシガープラグコードを本製品で使用しないでください。
- 駐車監視をご使用の場合、注意事項を必ずご確認ください。車両のバッテリー上がりに関して、弊社では一切の責任を負いかねます。

使用上のご注意

- 本製品に水などの液体をかけたりしないでください。火災や発火、感電の原因になります。
- 本製品の端子などの金属部分に指で触れないでください。接触不良の原因になります。
- マイクロSDカードを挿入する場合は、正しいコネクタの向きに水平に接続してください。誤った向きに挿入すると、マイクロSDカードの破損、データ消失や本製品の故障の原因になります。
- マイクロSDカードの抜き差しを行うときは、必ず本体の電源をオフにしてから行ってください。マイクロSDカードの破損、データ消失や本製品の故障の原因になります。
- マイクロSDカードは消耗品です。定期的に新品と交換してください。また長時間記録を繰り返すと記録できない部分（＝不良セクタ）が増え記録できなくなることがあります。1カ月に1度を目安に定期的にフォーマットを行ってください。
- マイクロSDカードはSDHC/SDXC規格に適合した高速SDカードを使用してください。【容量128GBまで：UHSスピードクラス1（U1）以上】
- 本製品をご使用中にマイクロSDカードのデータが消失しても、データの保証について弊社は一切責任を負いかねます。
- 本製品のコードの被覆が破れたり、コネクタがぐらついたりするなどの異常がある場合には直ちにご使用を中止してください。本体の故障や交通事故の原因になります。
- LCD（液晶）画面は、画面の一部にドット抜け（ごくわずかな黒い点や、常時点灯する赤、青、緑の点）が見えることがあります。これらはLCDの特性によるものであり、故障ではありません。
- コネクタに汚れやほこりが付いた場合は、乾いた柔らかい布でよく拭き取ってから使用してください。火災や故障の原因になります。
- 本製品のご使用または使用不能から生じる付随的な損害に対する補償や、接続した機器などに対する保証は一切いたしかねます。
- 本製品をご使用中に皮膚に異常を感じたときは、直ちに使用を止め、皮膚科専門医にご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じる場合があります。
- 本製品はすべての状況において、映像を記録することを保証するものではありません。
- 本製品は事故の証拠として、効力を保証するものではありません。
- 本製品はLED式信号機対策済み商品ですが、稀に点滅して撮影される場合や色の識別ができない場合があります。それにより発生する損害について弊社は一切責任を負いかねます。
- 本製品の近くにGPS機能を持つ製品を設置しないでください。誤作動を起こす可能性があります。
- 地デジ等のテレビアンテナの近くに設置しないでください。テレビの受信感度が低下する可能性があります。
- 本製品をいたずらなど本来の目的以外で使用すると、個人情報保護法に抵触する恐れやプライバシーなどの権利を侵害する恐れがあります。これらについて、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 本製品の取り付けによる車両の変色・変形について、弊社では一切の責任を負いかねます。

- 位置測位に関して、受信環境や機器の状態により、位置情報や時刻に誤差が出る場合があります。
- 金属コーティング等の特殊加工が施されたガラス面の近くに設置した場合、衛星からの電波受信に影響がある場合があります。

内容

特徴	1	5 消去する／保護する	30
はじめに	2	5.1 ファイルの消去	30
安全上のご注意（必ずお守りください）	2	5.2 ファイルの保護／保護解除	31
使用上のご注意	3	6 設定を変更する	32
1 準備	6	6.1 録画設定メニュー	32
1.1 パッケージ内容	6	6.2 システム設定メニュー	35
1.2 各部の名称	7	7 キー割当て	37
1.3 各部の説明	8	8 故障かなと思ったら	38
1.4 リアカメラの画面表示について	9	8.1 電源がオン・オフにならない	38
1.5 マイクロ SD カードの取付け／取外し	9	8.2 録画を開始しない	38
1.6 ドライブレコーダー取付手順	10	8.3 キーが反応しない、録画が勝手に停止する等、動作がおかしい	38
1.7 本体・ブラケット・リアカメラの接続方法	11	8.4 メモリーエラーが出る	38
1.8 シガープラグコードの接続	12	8.5 常時録画で映像が保存されていない	38
1.9 電源のオン／オフ	12	8.6 録画した映像がぼやけている	39
1.10 本体の取付けと配線	13	8.7 停車中やアイドルリング中に電源がオフしてしまう	39
1.11 リアカメラの取付けと配線	14	8.8 地上デジタル放送や他の車載機器に影響がでる	39
1.12 動作モード	15	8.9 パソコンで映像が再生できない。またはスムーズに再生できない	39
1.13 日時の設定	16	8.10 日時がリセットされてしまう	39
1.14 マイクロ SD カードのフォーマット	17	8.11 LCD 画面がしばらくすると消えてしまう	39
2 録画する	19	8.12 リアカメラが表示されない	39
2.1 動画モードについて	19	8.13 駐車監視が設定された時間通りに動作しない。	39
2.2 録画時間の目安	19	8.14 駐車監視に移行しない。または復帰しない。	40
2.3 動画モード画面表示	20	8.15 専用駐車監視ケーブルを使用しており、電源がオン・オフにならない	40
2.4 常時録画	21	8.16 SD カード定期メンテナンスが正常に動作しない。	40
2.5 マニュアル録画	21	9 付録 専用駐車監視ケーブル（別売）のご案内	41
2.6 緊急録画（衝撃検出時）	22	9.1 駐車監視ケーブルの設定方法	41
2.7 保護録画（手動）	22	10 仕様	42
2.8 プライバシーオート録音	23	■録画時間の目安	43
2.9 駐車監視	24		
3 写真を撮る	26		
3.1 スナップショット	26		
4 再生する	26		
4.1 本製品での再生	26		
4.2 再生モード画面表示	27		
4.3 パソコンでの再生	28		
4.4 ビューワーソフトでの再生	29		

1 準備

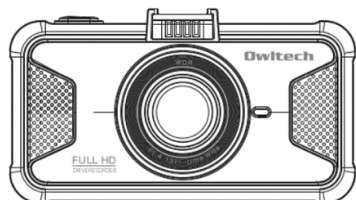
1.1 パッケージ内容

- 本体
 - リアカメラ
 - リアカメラコード (コード長 : 約 8 m)
 - GPS 内蔵ブラケット
 - シガープラグコード (コード長 : 約 4 m)
 - マイクロ SD カード (16GB)
 - 取扱説明書 兼 保証書 (本説明書)
 - ステッカー (4 枚)
 - 両面テープ (フロント・リアカメラ用予備 1 セット)
 - リアカメラ用 ブラケット固定ネジ (2 個)
- ⚠ 付属品のステッカー (4 枚) は、消耗品です。車両の状態やご使用環境により変色や剥がれなどが発生します。あらかじめご了承ください。

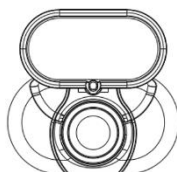
※両面テープ、固定ネジ、ステッカー、マイクロ SD カード等の消耗品は保証対象外となります。

※本製品に専用駐車監視ケーブルは同梱しておりません。

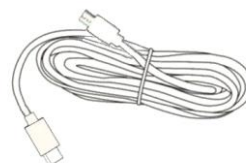
※付属品をご購入の場合は、弊社オウルテックダイレクト本店にてお取り扱いしております。
(両面テープのみでの販売はございません。ブラケット一式での販売となります)



本体



リアカメラ



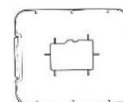
リアカメラコード



GPS 内蔵ブラケット



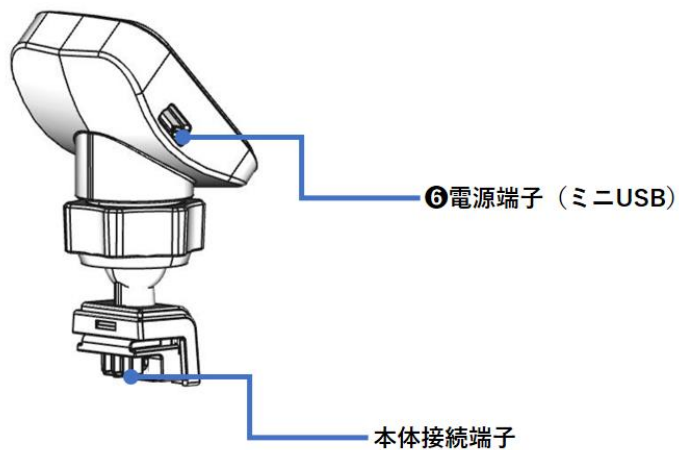
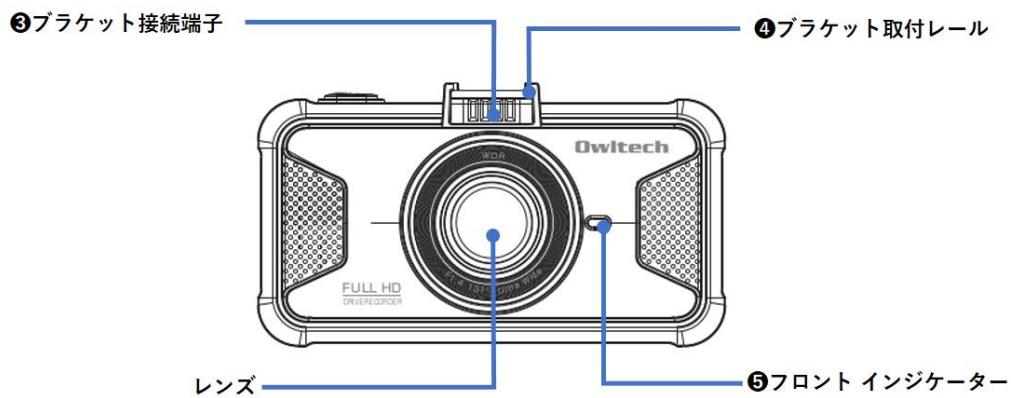
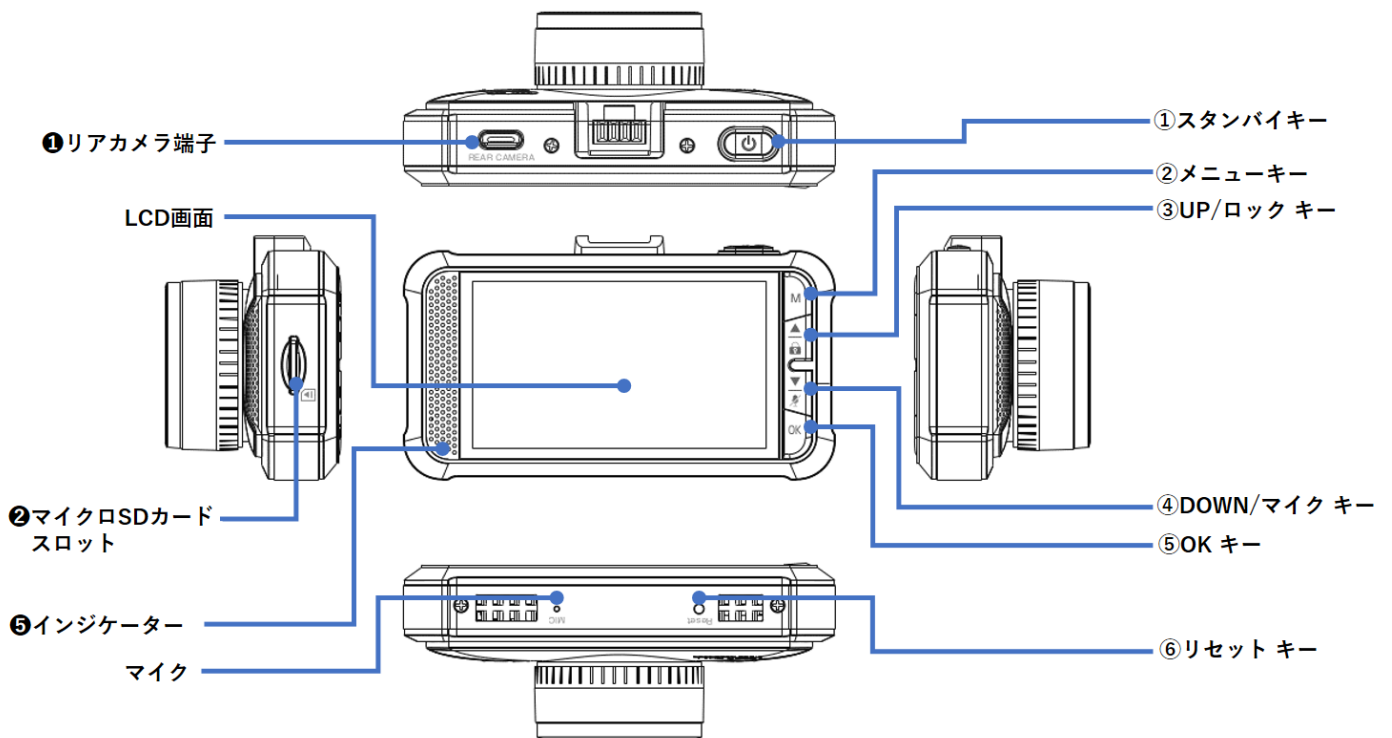
シガープラグコード



マイクロ SD カード

⚠ マイクロ SD カードは SDHC/SDXC 規格に適合した高速 SD カードを使用してください。
【容量 128GB まで : UHS スピードクラス 1 (U1) 以上】


1.2 各部の名称



1.3 各部の説明

(1) キーボタン

No.	名称	説明
①	スタンバイ キー	録画中に 1 回押すと、スナップショット写真を撮影します。電源オンの状態で長押し（約 2 秒以上）をすると「駐車監視」の待機状態になります。待機状態で 1 回押すと「駐車監視」が解除され「常時録画」に移行します。電源のオン/オフについては 12 ページを参照してください。
②	メニュー キー	動画モードでは、録画停止中に押すと「録画設定」メニューが表示され、メニュー キーを押すたびに「システム設定」「再生モード」に切り替わり、もう一度押すと動画モードに戻ります。
③	UP/ロック キー	動画モードでは録画中に押すと「保護録画」となります。各メニューでは、項目やファイルの選択を行います。
④	DOWN/マイク キー	動画モードでは録画中に押すと「音声録音」の状態を切り替えます。各メニューでは、項目やファイルの選択を行います。長押しするとリアカメラの表示方法（9 ページ）を切り替えられます。
⑤	OK キー	動画モードでは録画の開始/停止を行います。各メニューでは、選択項目を決定します。「再生モード」の動画再生画面では、再生/一時停止を行います。
⑥	リセット キー※	本製品が応答しないなど動作異常が起こった場合は、リセット キーを爪楊枝などで軽く押して、本体をリセットしてください。リセット キーを押すと再起動しますが、再起動しない場合は、電源を入れ直してください。

※  誤ってマイクなどほかの穴に挿入しないでください。故障の原因になります。

(2) 外部端子等

No.	名称	説明
①	リアカメラ端子	リアカメラを接続してください。
②	マイクロ SD カードスロット	マイクロ SD カード用のスロットです。本説明書の内容に従い、正しく挿入してください。
③	ブラケット接続端子	GPS 内蔵ブラケットを取り付けます。本説明書の内容に従い、正しく装着してください。
④	ブラケット取付レール	
⑤	インジケータ / フロント インジケータ	ドライブレコーダーが動作していることを LED で知らせます。フロント インジケータは設定でオン/オフを選択することができます。動作状態は (3) インジケータを参照してください。
⑥	電源端子 (ミニ USB)	電源端子です。シガープラグコードを接続してください。

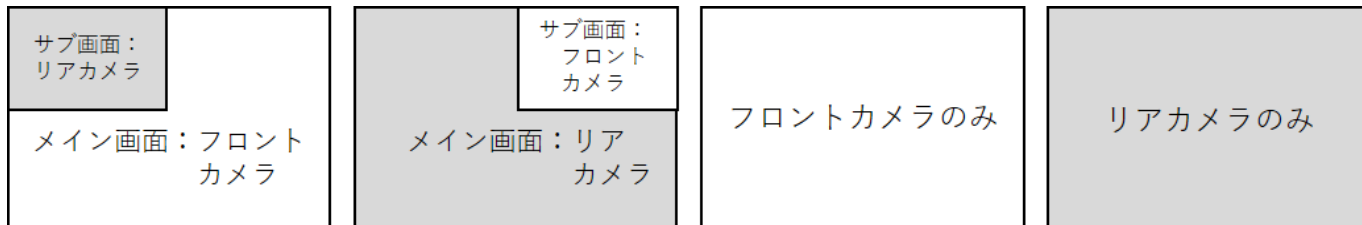
(3) インジケータ

状態	説明
青点灯	電源がオンで、かつ録画していない状態を示します。
青点滅	録画中であることを示します。
消灯	電源がオフ、または「駐車監視」の待機状態であることを示します。

1.4 リアカメラの画面表示について

リアカメラの画面表示位置は、「システム設定メニュー」の「表示切替」から設定を変更すると、再起動後も設定が保持されます。一時的に表示位置を変更する際は、「DOWN/マイク」キーを長押しするたびに切り替えができます。（電源オフすると「表示切替」設定で選択した画面に戻ります。）

⚠ 「リアカメラ設定」が「正像」の場合は「サブ画面：フロントカメラ」は画面の左上に表示されます。

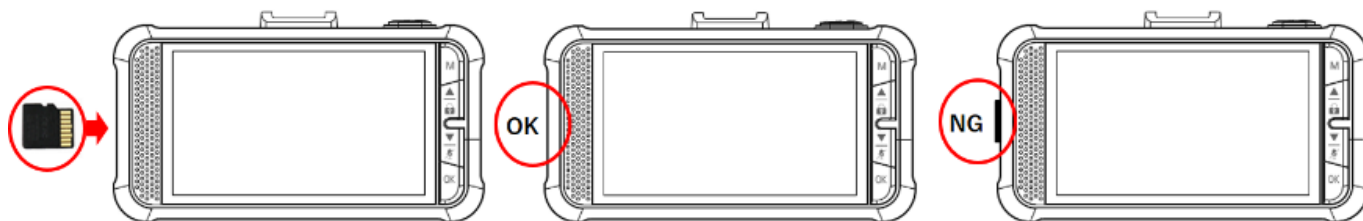


※初期設定画面

1.5 マイクロ SD カードの取付け／取外し

⊗ マイクロ SD カードの抜き差しを行うときは、必ず本体の電源をオフにしてから行ってください。マイクロ SD カードの破損、データ消失や本製品の故障の原因になります。

- (1) マイクロ SD カードの金メッキ端子側を図の向きに合わせて、マイクロ SD カードスロットにまっすぐ水平に「カチッ」と音が鳴るまで挿入してください。マイクロ SD カードが本体よりはみ出している場合は完全に挿入されていません。再度挿入し直してください。
- (2) 取り外す場合は、電源がオフであることを確認し、マイクロ SD カードを軽く押し込んでください。



⊗ マイクロ SD カードの金メッキ端子側を逆向きに挿入しないでください。本体およびマイクロ SD カードの故障の原因になります。

❗ 初めて使用するマイクロ SD カードの場合は、必ず最初に本製品でフォーマットを行ってください。フォーマット方法は『1.14 マイクロ SD カードのフォーマット』（17 ページ）を参照してください。

❗ マイクロ SD カードの取付け、または取外しを行った際は、本体に映像が問題なく記録されているか必ず確認してください。

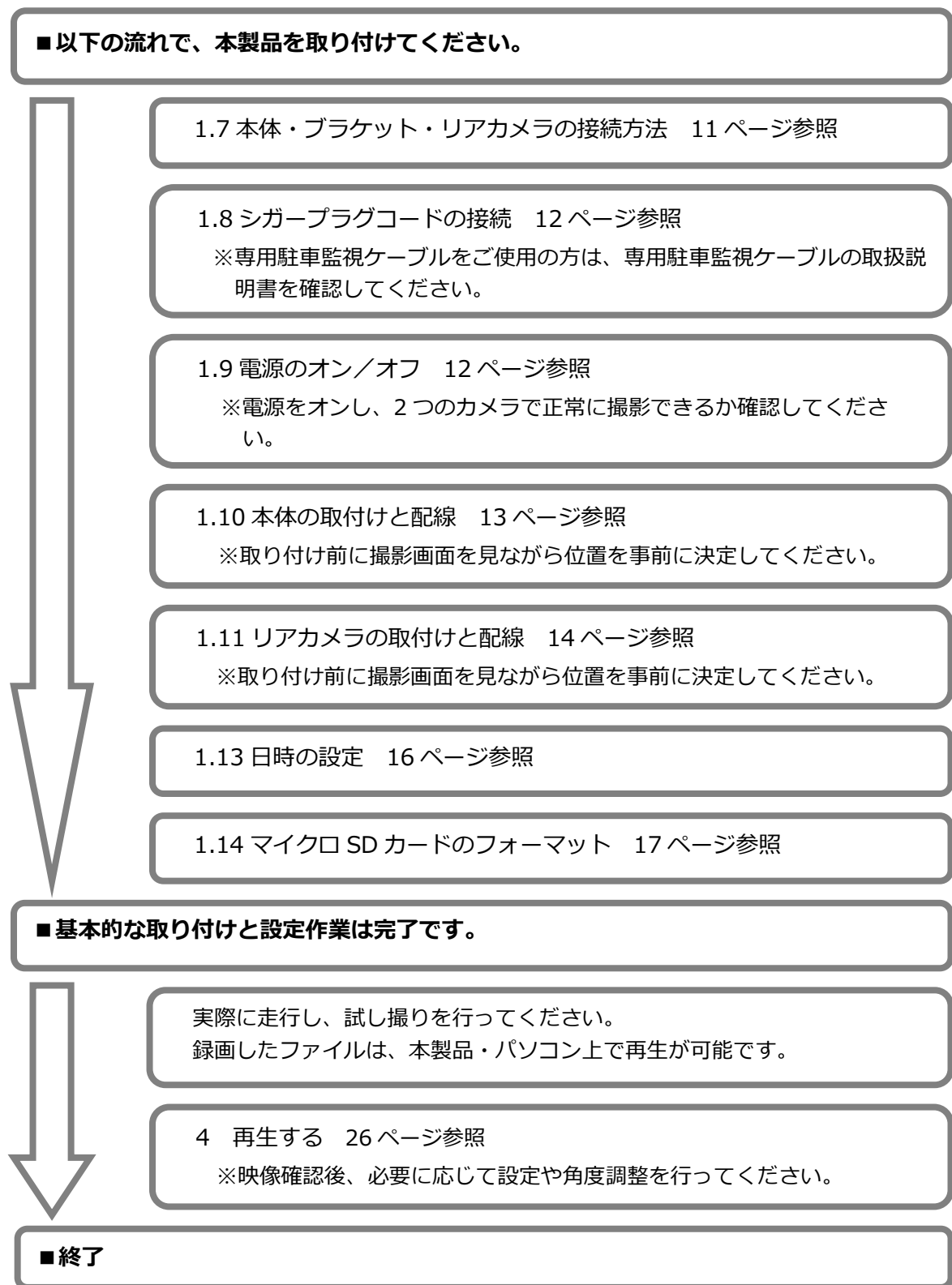
⚠ マイクロ SD カードを押し込んだ際に勢いよく飛び出す場合がありますので、紛失しないように注意してください。

⚠ マイクロ SD カードは SDHC/SDXC 規格に適合した高速 SD カードを使用してください。
【容量 128GB まで：UHS スピードクラス 1（U1）以上】

⚠ 推奨メンテナンス

マイクロ SD カードは消耗品です。長時間記録を繰り返すと記録できない領域（＝不良セクタ）が増え記録できなくなることがあります。使用頻度に合わせて、最低 1 ヶ月に 1 度を目安に定期的なフォーマットや正常に録画保存が行えるか点検を行ってください。使用頻度が高い場合は、定期的に新品と交換してください。

1.6 ドライブレコーダー取付手順

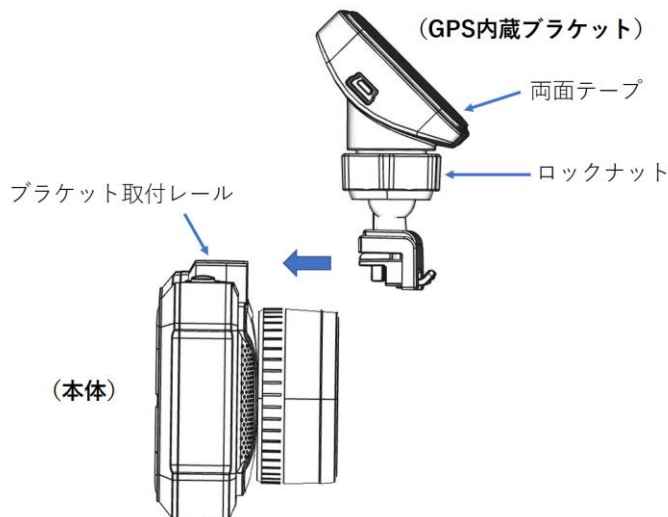


⊗ 運転中の設定変更や画面の注視は絶対におやめください。重大な事故につながる危険性があります。

1.7 本体・ブラケット・リアカメラの接続方法

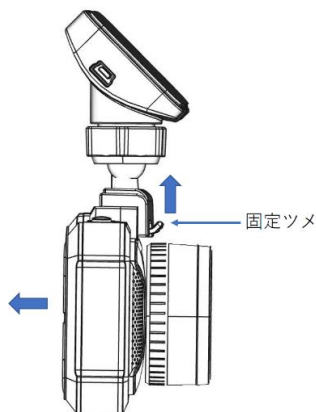
(1) 本体へのブラケット取付け方法

- 本体に GPS 内蔵ブラケットを矢印の方向に取り付けてください。
 - ロックナットを緩めたり締めたりすることで、本体の角度の調節を行うことができます。
- ⚠ 本体に GPS 内蔵ブラケットを取り付ける際は、「カチッ」と音がするまで挿入してください。取り付けが不完全だと落下する恐れがあります。



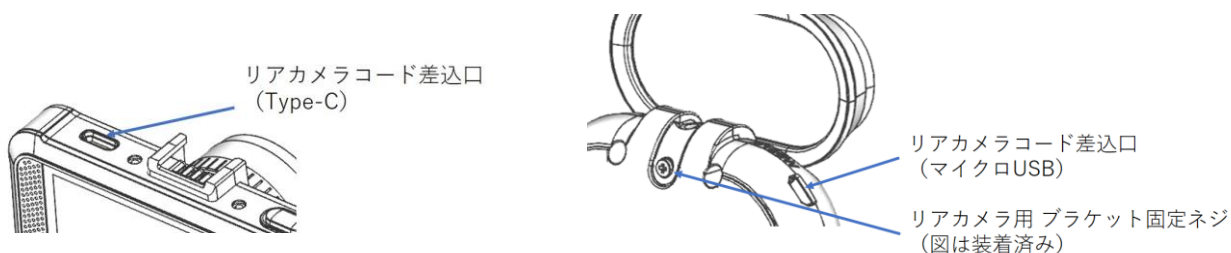
(2) 本体からのブラケット取外し方法

- GPS 内蔵ブラケット接続部分の固定ツメを上を持ち上げながら、本体を左矢印の方向にスライドさせると、本体を取り外すことができます。



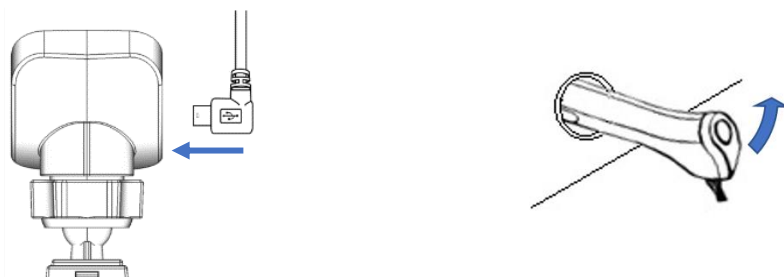
(3) 本体とリアカメラの接続方法

- リアカメラコードを、本体とリアカメラのリアカメラコード差込口に接続してください。
- ⚠ リアカメラコードのコネクタを誤って接続しないよう、形状をしっかりと確認してから、本体とリアカメラにコードを接続してください。



1.8 シガープラグコードの接続

シガープラグコードを GPS 内蔵ブラケットの電源端子（ミニ USB）に挿入し、車内のシガーソケットまたはアクセサリソケットに取付けてください。また、シガープラグコードのカバーを矢印方向へずらすとサービスポートが現れ、USB Type-A 端子をお使いいただけます。



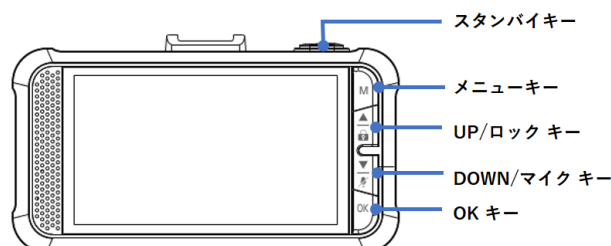
- ❗ シガープラグコードは必ず付属のシガープラグコードを使用してください。その他のシガープラグコードを使用すると故障等の原因になります。
- ⚠ サービスポートのカバーは無理にスライドすると、故障や破損の原因につながります。
- ⚠ サービスポートは急速充電等には対応していません。全てのスマートフォンにおける充電動作を保証しておりません。あらかじめご了承ください。

1.9 電源のオン/オフ

車両のエンジンと連動して、電源のオン/オフが切り替わります。

- ⚠ 本製品の電源オフは待機（スタンバイ）の状態となります。完全に電源がオフになりません。
- ⚠ 完全に電源をオフにする場合は、シガープラグコードをブラケットから取り外してください。取り外したミニ USB 端子は濡れる恐れがある場所や金属に接触しないように固定してください。

- 車両のエンジンを始動（=ACC 電源をオン）させると、自動的に本製品の電源がオンになり、録画を開始します。
- 車両のエンジンを停止（=ACC 電源をオフ）させると、自動的に本製品の録画を終了し、電源がオフになります。

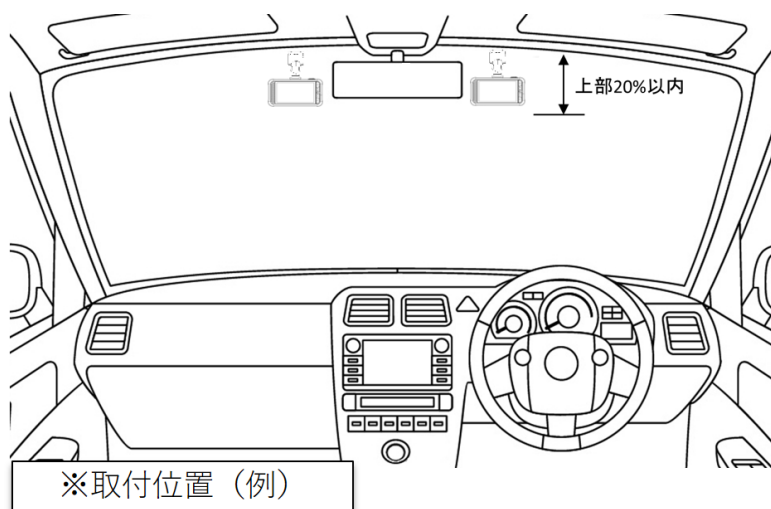


- ⚠ 車両のエンジンがかかっている（=ACC 電源がオン）状態でスタンバイキーを 2 秒以上長押しすると、本体は「駐車監視」の待機状態になります。待機状態中にスタンバイキーを押すと再び電源がオンし「常時録画」を開始します。
- ⚠ マイクロ SD カードが入っていない場合は、録画を行いません。
- ❗ 本製品を初めて使用する場合は、スーパーキャパシタ（内蔵電池）に充電されていない可能性があるため、使用前に約 10 分程度充電してください。充電されていない状態で電源をオフすると、全ての設定値が初期状態に戻る場合があります。

1.10 本体の取付けと配線

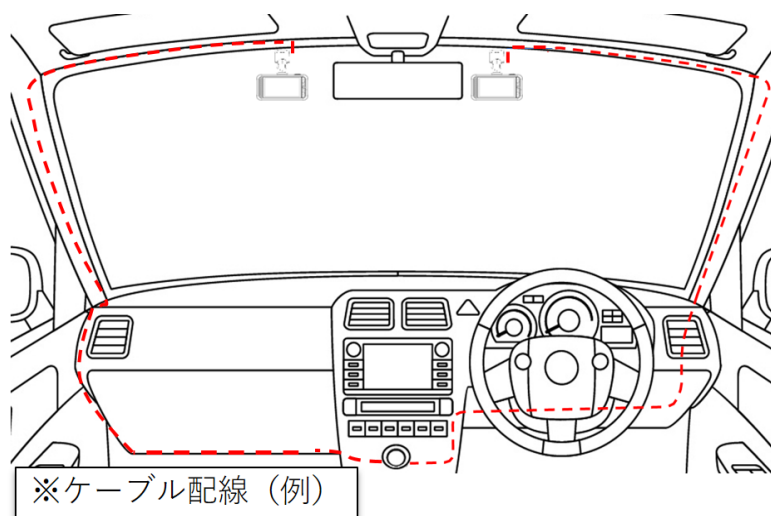
安全にお使いいただくために必ず下記の注意事項を守って、取付位置の確認と取り付け作業を行ってください。

- ❗ 取付け、配線前に本製品の動作確認を行ってください。動作異常の防止につながります。
- ❗ エアバッグの動作の妨げや、運転の妨げにならないように十分注意して配線してください。安全基準に適合させるために必ず下記の注意事項を厳守の上、取り付けを行ってください。
- ⚠ 本体はフロントガラスの内側に取り付けることを想定しています。



(1) 取付位置の確認

- 取り付けを行う前に、本体の電源をオンにし、撮影画面を見ながら取付位置を決定してください。
- ❗ フロントガラスへの取り付けに関しては、道路運送車両法に基づき設置場所がフロントガラス上部より20%以内に制限されています。視界の妨げにならないように取り付けてください。
- ❗ ワイパーの可動範囲内に取り付けてください。可動範囲外に取り付けると、降雨時・降雪時に水滴・雪・汚れ等で映像が見づらくなります。
- ⊘ 地デジ等のテレビアンテナの近くに設置しないでください。テレビの受信感度が低下する場合があります。



(2) 取付けと配線方法

- 事前に取付位置を決め、取付場所のフロントガラスの油脂や汚れをクリーナーなどで取り除いてください。(油分や、汚れが付着したまま取り付けると取り付け強度が低下します。)

- GPS 内蔵ブラケットの両面テープの保護シートを剥がして、フロントガラスと両面テープの間に気泡が入らないようにしっかりと押し付けながら貼り付けてください。
- 画面を見て位置を調整し、ロックナットをきつく締めてください。
- 市販のコードクリップなどを利用し配線を行ってください。コード類を隠す場合は、車両の購入店に確認し、ガラスと内張り等の隙間やパッキン類の隙間を利用してください。
- ❗ レンズには保護フィルムが貼られています。使用時には剥がしてください。
- ⊘ レンズに手を触れないでください。万一汚れた場合は柔らかい布等で拭き取ってください。
- ⚠ エアバッグの動作の妨げや、運転の妨げにならないように十分注意して配線してください。
- ⚠ テレビや AM・FM ラジオのアンテナ付近に配線すると、電波の受信に影響を与える場合があります。配線の位置を変更することで影響が緩和される場合があります。

1.11 リアカメラの取付けと配線

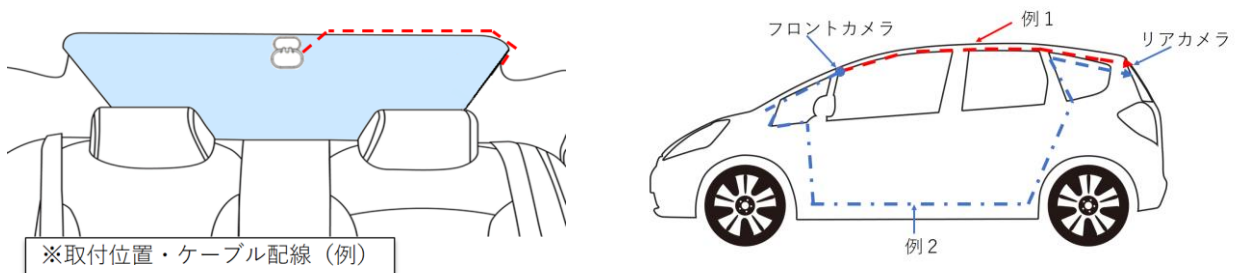
安全にお使いいただくために必ず下記の注意事項を守って、取付位置の確認と取り付け作業を行ってください。

- ❗ 取り付け、配線前に本製品の動作確認を行ってください。動作異常の防止につながります。
- ⚠ リアカメラはリアガラスの内側に取り付けることを想定しています。

(1) 取付位置の確認

- 取り付けを行う前に、本体の電源をオンにし、撮影画面を見ながら取付位置を決定してください。
- ❗ ワイパーの可動範囲内に取り付けてください。(リアワイパー装着車) 可動範囲外に取り付けると、降雨時・降雪時に水滴・雪・汚れ等で映像が見つづらくなります。
- ❗ 取付位置は視界の妨げにならないように調整してください。
- ⊘ リアガラスの熱線を避けて設置してください。

(2) 取付けと配線方法

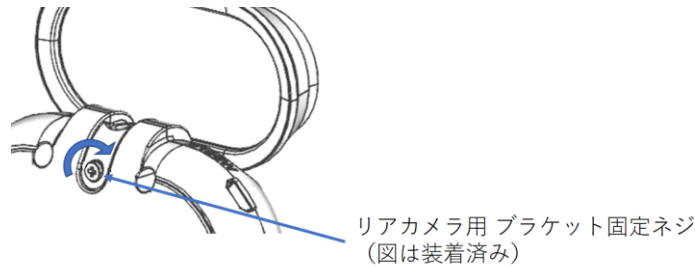


- 事前に取り付位置を決め、取付場所のリアガラスの油脂や汚れをクリーナーなどで取り除いてください。(油分や、汚れが付着したまま取り付けると取り付け強度が低下します。)
- 両面テープの保護シートを剥がして、リアガラスと両面テープの間に気泡が入らないようにしっかりと押し付けながら貼り付けてください。
- 市販のコードクリップなどを利用し配線を行ってください。コード類を隠す場合は、車両の購入店に確認し、ガラスと内張り等の隙間やパッキン類の隙間を利用してください。
- ❗ レンズには保護フィルムが貼られています。使用時には剥がしてください。

- ⊘ レンズに手を触れないでください。万一汚れた場合は柔らかい布等で拭き取ってください。
- ⚠ エアバッグの動作の妨げや、運転の妨げにならないように十分注意して配線してください。

(3) リアカメラの固定方法

- リアカメラの固定が緩い場合は、「リアカメラ用ブラケット固定ネジ」を使用してください。下記図を参考にしながらネジを差し込み、精密ドライバー000 (+) 又は00 (+) 等で時計回りに少しずつ回してレンズの上下の向きと固定具合を確認しながらネジ留めを行ってください。



- ⚠ ネジは軽く締めるだけで位置が固定されます。ネジを強く締めるとその後の位置の微調整が行いにくくなりますので、確実に位置を調整してから締め付けてください。

1.12 動作モード

本製品は「動画モード」「メニューモード」「再生モード」の3つの動作モードがあります。メニューボタンを押すことでそれぞれのモードに変更できます。

- 「動画モード」は撮影中の映像を表示しながら録画を行います。
 - 「メニューモード」は録画やシステムに関する設定変更を行います。
 - 「再生モード」は録画したファイルの再生やファイルの保護を行います。
- ⚠ 再生と録画を同時に行うことはできません。

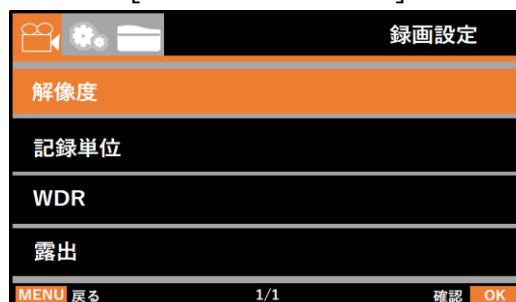
[動画モード画面]



[再生モード画面 (一覧表示)]



[メニューモード画面]

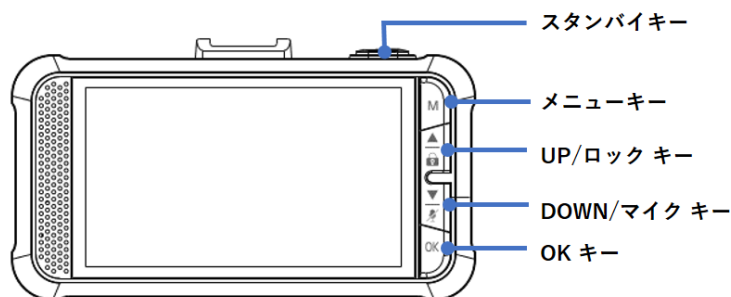


1.13 日時の設定

日時は GPS により自動的に設定されるため、設定の必要がありません。ただし GPS が受信できないような環境でお使いの場合は、以下の手順で設定を行ってください。

(1) 録画停止中に「メニュー」キーを 2 回押すと「システム設定」メニューが表示されます。

(録画中の場合は「OK」キーを押して録画を停止してください)



[システム設定]



[日付/時刻]



(2) 「UP/ロック」キーと「DOWN/マイク」キーで「日付/時刻」を選択し、「OK」キーを押してください。

(3) 「UP/ロック」キーと「DOWN/マイク」キーで選択し「OK」キーを押して決定してください。

(4) 「OK」キーを押す毎に、[年→月→日→時→分→秒]に移動しますので、年と同様に月日と時刻を合わせて「OK」キーで決定してください。

(5) 「メニュー」キーを 2 回押すと動画モード画面に戻ります。

- 日付/時刻の並び順を変更する場合は「UP/ロック」キーと「DOWN/マイク」キーで「日付形式」を選択し、好みの表示形式に合わせます。【初期設定：年月日】

表示形式	説明
年月日	年/月/日 の順で表示されます。 例) 2021/01/02
月日年	月/日/年 の順で表示されます。 例) 01/02/2021
日月年	日/月/年 の順で表示されます。 例) 02/01/2021

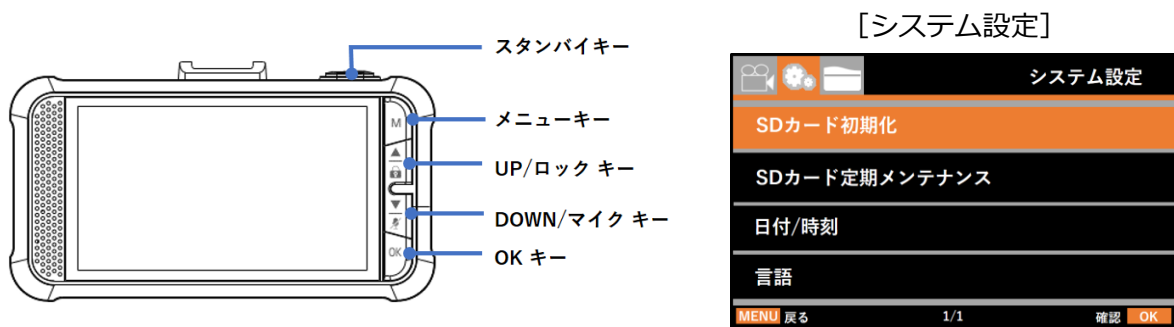
⚠ 長時間本製品を使用しない場合など、電源オフの状態が続くとスーパーキャパシタの電圧が低下し、日時設定が初期状態に戻ることがあります。その際は、約 10 分程度充電を行い再度設定を行ってください。

1.14 マイクロ SD カードのフォーマット

マイクロ SD カードを初めて使用する場合は、マイクロ SD カードのフォーマットが必要です。以下の手順に従って本製品上でフォーマットを行ってください。また品質を維持するために定期的にフォーマットを行ってください。

⚠ フォーマットを行うと、マイクロ SD カード内の全てのデータが消去されますのでご注意ください。

- (1) 録画停止中に「メニュー」キーを 2 回押すと「システム設定」メニューが表示されます。
(録画中の場合は「OK」キーを押して録画を停止してください)
- (2) 「UP/ロック」キーと「DOWN/マイク」キーで「SD カード初期化」を選択し、「OK」キーを押してください。
- (3) “全てのデータを消去します” と表示されますので、「UP/ロック」キーと「DOWN/マイク」キーで「はい」を選択し、「OK」キーを押すとフォーマットを実行します。
- (4) “フォーマット完了” と表示されたらフォーマットは完了です。
- (5) 「メニュー」キーを押すと動画モード画面に戻ります。



- ❗ マイクロ SD カードの抜き差しを行うときは、正しい向きで挿入してください。誤った向きに挿入すると、マイクロ SD カードの破損、データ消失や本製品の故障の原因になります。
- ❗ マイクロ SD カードの抜き差しを行うときは、必ず本体の電源をオフにしてから行ってください。マイクロ SD カードの破損、データ消失や本製品の故障の原因になります。

！ 重要 ！

- 本製品の保証期間はマイクロSDカードの製品寿命を保証するものではありません。
- お客様のご使用頻度により交換する時期の目安は変わります。

毎日の通勤などご使用頻度が高い場合は、「ドライブレコーダー用途」と表示された高耐久仕様のマイクロSDカードのご購入をおすすめします。

長時間記録を繰り返すと記録できない部分（＝不良セクタ）が増え、記録できなくなることがあります。使用頻度に合わせ、最低1カ月に1度を目安に定期的なフォーマットや正常に録画保存が行えるか点検を行ってください。使用頻度が高い場合は、定期的に新品と交換してください。また、マイクロSDカードの買い換えの際には、SDHC/SDXC規格に適合した高速SDカードを購入してください。【容量128GBまで：UHSスピードクラス1（U1）以上】

● SDカード定期メンテナンス

メンテナンス機能として、マイクロSDカードを最後にフォーマットしてから1カ月間（30日）フォーマットを行っていない場合、メニュー設定で「強制的にフォーマットする機能」、または「フォーマットや本体の動作確認を促すメッセージを表示する機能」を選択することができます。

【機能1：自動フォーマット】

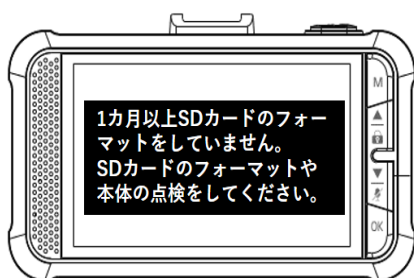


フォーマットを行わず1カ月（30日）経過すると、自動でマイクロSDカードのフォーマットを行います。

⚠️ ご使用の際の注意事項 ⚠️

自動フォーマットは、お客様の許可を求めず、強制的にフォーマットを行います。削除したくない録画ファイルがある場合は、マイクロSDカードを交換いただくか、他の記録媒体等にファイルの移動を行ってください。

【機能2：通知のみ】



フォーマットを行わず1カ月（30日）経過すると、フォーマットや本体の動作確認を促すメッセージが表示されます。



※本体起動時に、メッセージが表示されます。ボタンを押すことで表示は消えますが、フォーマットを行わない限り起動時にメッセージが表示され続けます。（表示中も録画は行われます）


⚠️ メッセージや自動フォーマットが不要な場合はシステム設定で機能を「オフ」にすると動作しません。『SDカード定期メンテナンス（35ページ）』を参照してください。

2 録画する

2.1 動画モードについて

本製品には5つの動画モードがあります。

項目	説明
常時録画	エンジン始動 (=ACC 電源オン) の後、自動的に録画を開始し、エンジン停止 (=ACC 電源オフ) までの映像を録画し続けます。
マニュアル録画	録画停止中に「OK」キーを押すと録画を開始し、録画中に「OK」キーを押すと録画を停止します。
緊急録画 (衝撃検出時)	「常時録画」や「マニュアル録画」中に、内蔵の G センサーが衝撃を検出すると、LCD 上に  アイコンが表示され、保護ファイルとして記録します。
保護録画 (手動)	録画中に「UP/ロック」キーを押すと LCD 上に  アイコンが表示され、保護ファイルとして記録します。
駐車監視 (衝撃検出録画)	※本機能は、専用駐車監視ケーブル (別売) が必要です。 詳細は (41 ページ) を参照してください。 駐車監視中は、本体が待機状態となります。G センサーが衝撃や振動を検出すると待機状態が解除され、緊急録画として1分間録画を行います。詳細は (24 ページ) を参照してください。

 「駐車監視」の待機状態時は、ロゴ画面の表示後 LCD 画面が消え、インジケータも消灯します。


2.2 録画時間の目安


マイクロ SD カードの容量に対する録画時間の目安を示します。

下記の時間は、各フォルダ (ノーマル、イベント、写真) を合わせた時間となります。

解像度の変更方法は、32 ページ (6.1 録画設定メニュー) を参照してください。

解像度	記録サイズ	16GB	32GB	64GB	128GB
FHD	1920 × 1080p (フロントカメラのみ)	約 120 分	約 240 分	約 480 分	約 960 分
HD	1280 × 720p (フロントカメラのみ)	約 200 分	約 400 分	約 800 分	約 1600 分
FHD/FHD (フロント/リア)	1920 × 1080p (前後カメラで動作)	約 60 分	約 120 分	約 240 分	約 480 分
HD/HD (フロント/リア)	1280 × 720p (前後カメラで動作)	約 100 分	約 200 分	約 400 分	約 800 分

 記録時間は目安であり保証するものではありません。SD カードの空き容量がない場合、「ノーマル」フォルダ約 50%、「イベント」フォルダ約 50%になるように古いファイルからループ録画で上書きされます。「ノーマル」フォルダのファイルをすべて保護した場合は、保護ファイルが 25%になるまで古いファイルからループ録画で上書きされます。

 本製品は exFAT 形式のフォーマットには対応しておりません。新品やパソコンでフォーマットした 64GB 以上のマイクロ SD カードを使用する場合は、本製品でフォーマットしてください。

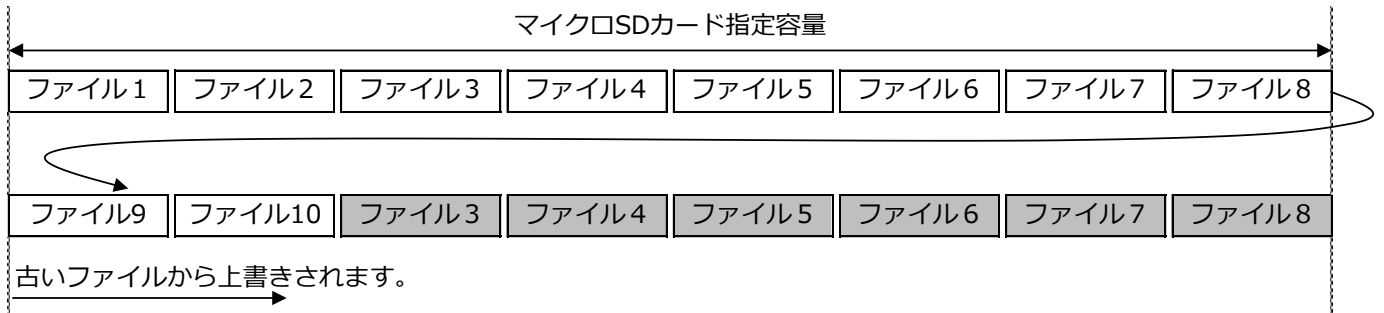
 フロントカメラのみで使用する場合は、リアカメラコードを外して使用してください。

2.3 動画モード画面表示



No.	名称	説明
①	モード アイコン	動画モードであることを示します。 ● 録画中は赤丸の点滅に替わります。 📹 録画停止中を示します。
②	解像度 表示	撮影時の解像度を表示します。(32 ページ参照)
③	カギ アイコン	録画中に G センサーが衝撃を検出した場合、または保護録画(手動)を行った場合に表示されます。
④	録画時間(残量時間)	録画時間を示します。録画停止時は録画時間の残量を示します。
⑤	スナップショット アイコン	録画中に静止画を撮影したことを示します。(26 ページ参照)
⑥	マイク アイコン	音声録音の状態を示します。 🔊 音声録音がオートモードであることを示します。 🔊 音声録音がオンであることを示します。 🔊 音声録音がオフであることを示します。
⑦	電源アイコン	🔌 5V が供給されていることを示します。
⑧	日付 表示	現在の日付を表示します。
⑨	時刻 表示	現在の時刻を表示します。
⑩	SD カード アイコン	SD カードの有無を示します。 📁 挿入されていることを示します。 📁 挿入されていないことを示します。
⑪	露出 アイコン	露出 (= 明るさ) の設定値を示します。
⑫	GPS アイコン	GPS の受信状態を示します。 良い ← 📶 📶 📶 📶 📶 → 悪い
⑬	駐車監視 アイコン	🅑 「駐車監視」で録画中であることを示します。 🅑 「駐車監視」以外の状態を示します。
⑭	ループ録画時間 アイコン	🕒 1分単位で録画することを示します。 🕒 3分単位で録画することを示します。 🕒 5分単位で録画することを示します。

2.4 常時録画



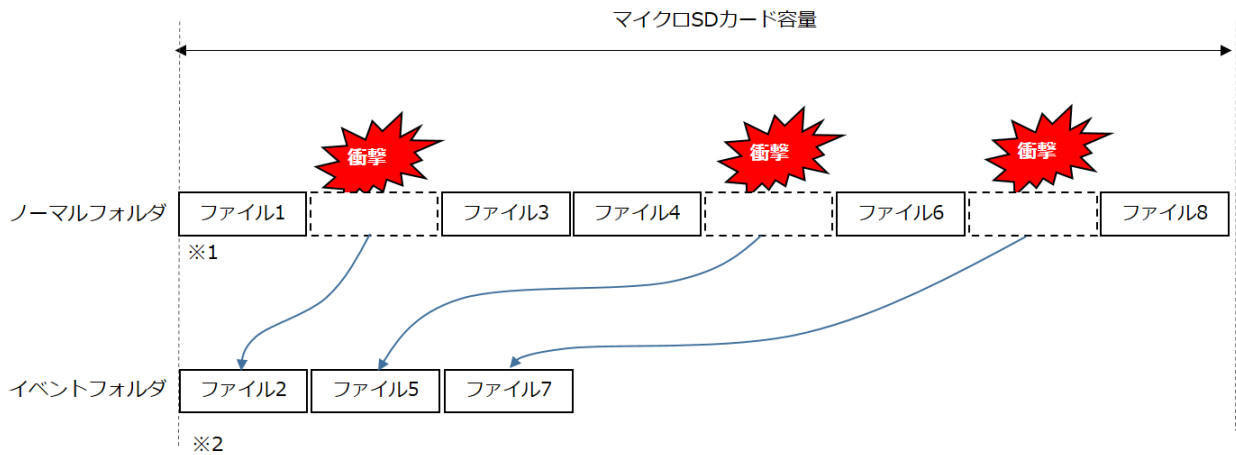
- (1) 車両のエンジンを始動 (=ACC 電源をオン) させると本製品がオンになり、自動的に録画を開始し、エンジン停止 (=ACC 電源をオフ) まで、マイクロ SD カードに常時録画します。録画開始時には音でお知らせします。
- (2) 録画は、あらかじめ設定したループ録画単位で 1 ファイル毎にノーマルフォルダに記録されます。録画したファイルがマイクロ SD カードの指定容量 (全体の約 50%) に達すると、古いファイルから順次上書きを行い、自動的にループ録画を繰り返します。ループ録画時間は「録画設定」メニューで設定できます。(32 ページ参照)

⚠ マイクロ SD カードの指定容量まで録画すると、古いファイルから上書きされます。

2.5 マニュアル録画







録画中に「OK」キーを押すと録画を停止します。停止中に再度「OK」キーを押すと録画を開始します。録画の条件および動作は「常時録画」と同じです。

2.6 緊急録画（衝撃検出）





※1 ノーマルフォルダ内でファイルが一杯になったら、フォルダ内の古いファイルから上書きされます。保護ファイルに設定されたファイルは上書きされません。

※2 イベントフォルダ内でファイルが一杯になったら、フォルダ内の古いファイルから上書きされます。保護ファイルに設定されたファイルは上書きされません。

- (1) 「常時録画」中にフロントカメラ本体に衝撃が加わり内蔵のGセンサーが検出すると、LCD画面上に  アイコンが表示されます。
- (2)  アイコンが表示された状態で1ファイル録画を完了すると、そのファイルは保護ファイルとしてイベントフォルダに記録され、その後の「常時録画」（緊急以外の録画）では上書きされなくなります。
- (3) イベントフォルダのファイルがマイクロSDカードの指定容量（全体の約50%）に達すると、古いファイルから順次上書きを行い、自動的にループ録画を繰り返します。
 ファイルを上書きしたくない場合は「再生モード」の中の「ファイル設定」メニューで個々のファイルを保護設定してください。また、こまめにパソコンなどへバックアップを行うことをおすすめします。フロントカメラ本体でのファイル消去の方法は『5.1 ファイルの消去』（30ページ）を参照してください。
- (4) Gセンサーの感度は3段階から選択できます。「録画設定」メニューで設定してください。
 軽微な接触等、振動や衝撃が弱い事故が発生した場合は、Gセンサーが振動や衝撃を検出できない場合があります。
 事故の程度に関わらず、事故発生時は記録されたデータが上書きされないように、必ずマイクロSDカードを抜いて保管およびデータのバックアップを行ってください。
 マイクロSDカードの抜き差しを行うときは、必ず本体の電源をオフにしてから行ってください。電源がオンのまま抜き差しを行うと、マイクロSDカードの破損、データ消失や本製品の故障の原因になります。

2.7 保護録画（手動）

- (1) 録画中に「UP/ロック」キーを押すと、LCD画面上に  アイコンが表示されます。
- (2) LCD画面上に  アイコンが表示された状態で1ファイル分の録画を完了すると、そのファイルは保護ファイルとしてイベントフォルダに記録されます。

⚠ 「保護録画」で保護されたファイルが、マイクロ SD カードの容量の上限に達すると、古いファイルから順次上書きを行い、自動的にループ録画を繰り返します。保存したいファイルはこまめにパソコンなどへバックアップを行い、保護ファイルは定期的に消去してください。バックアップの方法は『4.3 パソコンでの再生』(28 ページ) を参照してください。本体でのファイルの消去の方法は『5 消去する/保護する』(30 ページ) を参照してください。

2.8 プライバシーオート録音

「常時録画」中は音声録音を行わず、衝撃を検知した場合に音声録音を行う機能です。

衝撃を検知した時点から音声録音が始まり、1 ファイル録画完了まで録音されます。次の録画では再び音声録音は行わない状態に戻ります。(録画ファイルはイベントフォルダに保存されます。)

この機能は、設定を「オート」にすることで有効になります。

動画モード画面の状態、「DOWN/マイク」キーを押してください。押すたびに録音をオン→オフ→オートと変更することができます。「録画設定」メニューからも同じ変更ができます。

(1) 録画停止中に「メニュー」キーを押すと「録画設定」メニューが表示されます。

(録画中の場合は「OK」キーを押して録画を停止してください)

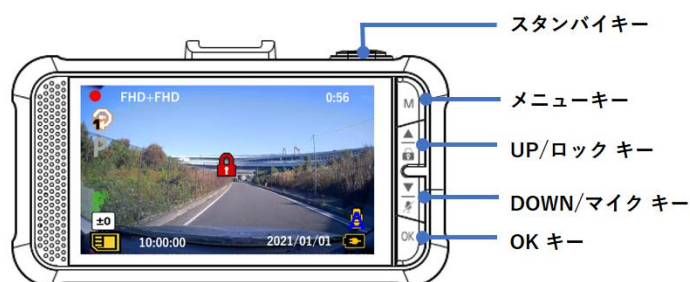
(2) 「UP/ロック」キーと「DOWN/マイク」キーで「音声録音」を選択し、「OK」キーを押してください。

(3) 表示された項目から「UP/ロック」キーと「DOWN/マイク」キーで「オート」を選択し、「OK」キーを押すことで本機能が有効となり、「録画設定」メニュー画面に戻ります。【初期設定：オート】

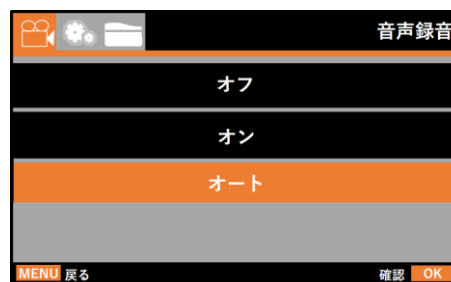
項目	説明
オン	録画中は常に音声録音を行います。
オフ	録画中は常に音声録音を行いません。
オート	「常時録画」では音声録音を行わず、手動保護や衝撃を検出すると自動的に音声録音を行います。

(4) 「メニュー」キーを1回押すと動画モードに戻ります。

⚠ 衝撃検出する前の音声は録音されません。衝撃を検出し LCD 画面上に🔒アイコンが表示されている間、音声を録音します。



[音声録音]

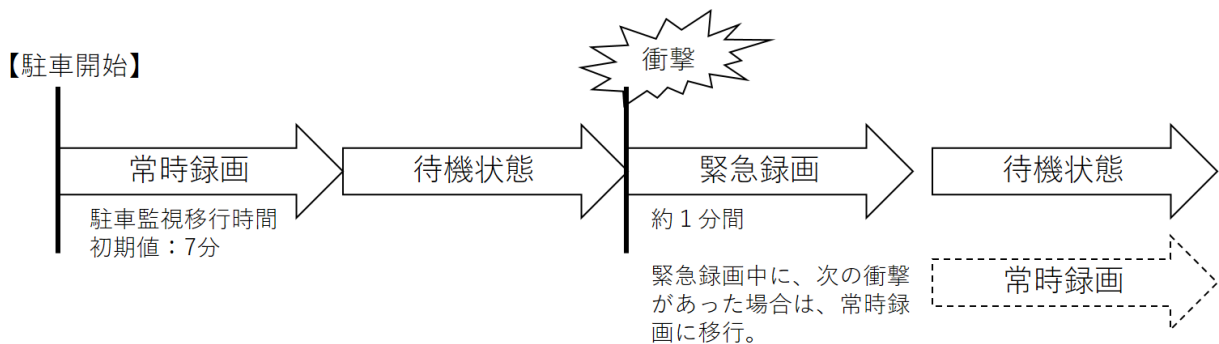


2.9 駐車監視（衝撃検出）

本機能を使用する場合は、専用駐車監視ケーブル（別売）が必要です。

車両を停車させ、振動や衝撃が加わらない状態を約5分間継続すると本体は駐車中と判断し自動的に駐車監視の待機状態に移行します。待機状態に移行する際は、電源オフと同様に効果音が鳴り、LCD画面やインジケータを消灯します。待機状態中に、車両に衝撃や振動が加わると待機状態が解除され緊急録画を行います。

- ⚠ 本機能は設定でオフにすることはできません。駐車監視ケーブル・シガープラグコードの使用に関わらず、エンジンを掛けたまま停車などを行うと待機状態に移行することがあります。
- ⚠ 衝撃や振動がわずかな場合、待機状態から復帰できない場合があります。



「駐車監視」に移行する時間は、「録画設定」メニュー内「駐車監視 移行時間」から選択できます。

【初期設定：7分】

項目	説明
5分	5分間振動がない場合に、待機状態になります。
7分	7分間振動がない場合に、待機状態になります。
10分	10分間振動がない場合に、待機状態になります。

- ⚠ 緊急録画ファイルはイベントフォルダに、常時録画はノーマルフォルダに保存されます。

❗ 重要 ❗

<専用駐車監視ケーブル（別売）をご使用されるお客様>

⚠ 駐車監視ケーブルの設定が別途必要です。

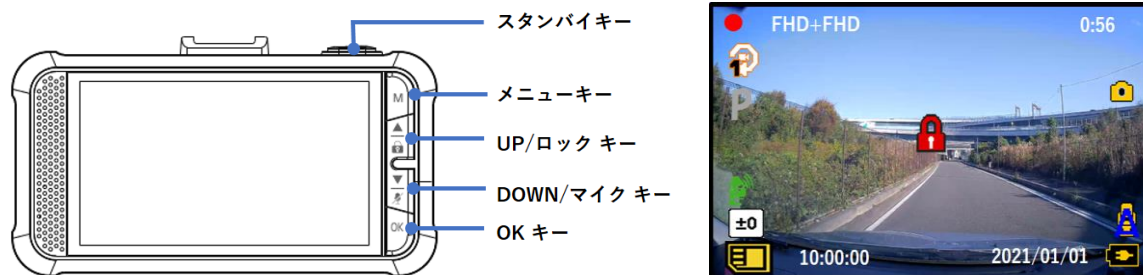
下記の注意事項を確認しご使用ください。

- 次の方は車両のバッテリー上がりの原因となりますのでご使用を控えてください。
(毎日乗車しない方、1日の走行が1時間以下の方、車両のバッテリーの交換頻度が少ない方)
 - 長期間、運転しない場合は、駐車監視の使用を控えてください。車両のバッテリー上がりが発生しやすくなります。使用しない場合は、専用駐車監視ケーブルの設定を初期設定（タイマー・オフ）に戻してください。
 - 車両のバッテリー上がりに関して、弊社では一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- ❗ 「駐車監視」は車両のバッテリーに負荷が掛かります。ご使用後は、必ずエンジンを始動し充電を行ってください。また、定期的に車両のバッテリーの点検を行ってください。
- ⊗ 真夏の日中など車内温度が動作温度を超えて動作を続けた場合、故障が発生する可能性が高まります。動作温度を超える状況下では、使用を中止してください。
- ⚠ 長時間のアイドリング中や渋滞など、車両を動かさない状態が続くと「駐車監視」に切り替わることがあります。移行頻度が高い場合は、「駐車監視 移行時間」の設定を長めに設定してください。
- ⚠ 機械式駐車場やフェリー等、車両が揺れやすい状態では「駐車監視」に自動移行しない場合があります。専用駐車監視ケーブルのタイマー機能を初期設定（タイマー・オフ）にするか、専用駐車監視ケーブルをブラケットから取り外してください。取り外したミニ USB 端子は濡れる恐れがある場所や金属に接触しないように固定してください。
- ⚠ 軽微な接触等、振動や衝撃の弱い事故などが発生した場合は、G センサーが振動や衝撃を検出できず録画できない場合があります。
- ⚠ 専用駐車監視ケーブルのタイマー機能は、必ず設定された時間を動作することを保証するものではありません。車両のバッテリーの容量や使用環境により変わります。タイマー機能を設定しても車両のバッテリー電圧が停止電圧値の設定に到達すると電源がオフとなり「駐車監視」が終了します。

3 写真を撮る

3.1 スナップショット

録画中に「スタンバイ」キーを押すと、録画しながらスナップショット写真を記録します。
スナップショットはフロント・リアカメラ同時に撮影されます。



- ⚠ 録画停止中ではスナップショット撮影はできません。
- ⚠ スナップショットは、動画モードの解像度で記録されます。

4 再生する

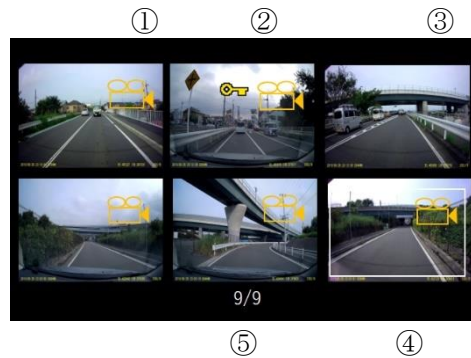
4.1 本製品での再生

- 録画停止中に「メニュー」キーを3回押すと「再生モード」に切り替わります。
(録画中の場合は「OK」キーを押して録画を停止してください)
- 再生モードの各項目「イベント」「ノーマル」「写真」「全て」から目的の項目名を選択すると、録画されたファイルの一覧が表示されます。
- 再生するファイルを「UP/ロック」キーと「DOWN/マイク」キーで選択します。
- 選択後に「OK」キーを押すと、1画面表示に切り替わりファイルを再生します。動画の場合は「OK」キーで再生/一時停止を行うことができます。

項目	説明
イベント	「緊急録画」「保護録画」「駐車監視（緊急録画）」中に撮影された録画ファイルのみ一覧表示されます。
ノーマル	「常時録画」「駐車監視（常時録画）」中に撮影された録画ファイルのみ一覧表示されます。
写真	スナップショットで撮影された写真のみ一覧表示されます。
全て	全ての録画ファイルが一覧に表示されます。

4.2 再生モード画面表示

[一覧表示：全ての場合]



[1画面表示：動画再生]



[1画面表示：写真再生]



No.	名称	説明
①	動画 アイコン	動画ファイルであることを示します。
②	保護 アイコン	保護ファイルであることを示します。
③	写真ファイル	動画アイコンがない状態は、写真ファイルを示します。
④	再生ファイル選択	選択したファイルを白枠で表示します。
⑤	ファイル番号	再生中ファイル/全ファイル番号を表示します。
①	保護 アイコン	保護ファイルであることを示します。
②	動画 アイコン	動画ファイルであることを示します。
③	ファイル名 (MP4)	ファイル名を表示します。
④	解像度	録画された解像度を示します。
⑤	現在日時	現在の日時を表示します。
⑥	再生・停止アイコン	「OK」キー：再生開始 「OK」キー：一時停止 「DOWN/マイク」キー：早戻し 「UP/マイク」キー：早送り 「メニュー」キー：停止
⑦	電源アイコン	5V が供給されていることを示します。
⑧	写真 アイコン	写真ファイルであることを示します。
⑨	ファイル名 (JPG)	ファイル名を表示します。

4.3 パソコンでの再生

本製品で撮影した映像および画像は、マイクロ SD カードを介してパソコンで再生することができます。

- (1) 本製品の電源がオフであることを確認し、マイクロ SD カードを取り出します。
- (2) マイクロ SD カードを市販の SD カード変換アダプタにセットし、パソコンの SD カードスロットに挿入します。パソコンに SD カードスロットがない場合は、市販のカードリーダーなどを使用してください。
- (3) パソコンでマイクロ SD カードが接続されているドライブをダブルクリックします。
- (4) 3 種類のフォルダが表示されます。各フォルダは下記のとおりです。ノーマル (NORMAL)、イベント (EVENT)、写真 (PHOTO) のフォルダが表示されます。下記の保存フォルダの種類に従って保存されています。
- (5) 再生したいファイルのあるフォルダを開いてください。
- (6) 再生したいファイルを選択し、MP4 対応の動画再生ソフト、または専用ビューワーソフトで再生してください。

マイクロ SD カードのフォルダと保存ファイル例

ルートフォルダ	フォルダ名	保存ファイルの種類	カメラ種類	保存ファイルの例
DCIM	NORMAL	<ul style="list-style-type: none"> ・ 常時録画 ・ マニュアル録画 ・ 駐車監視 (常時録画) 	フロントカメラ	20211116_082106_001A.MP4
			リアカメラ	20211116_082106_001B.MP4
	EVENT	<ul style="list-style-type: none"> ・ 緊急録画 ・ 手動保護録画 ・ 駐車監視 (緊急録画) 	フロントカメラ	20211116_082106_002A.MP4
			リアカメラ	20211116_082106_002B.MP4
	PHOTO	スナップショット	フロントカメラ	20211116_102332_001A.JPG
			リアカメラ	20211116_102332_001B.JPG

ファイル名詳細 (上記保存ファイルの例)

ファイル名	20211116	102332	連番	A/B	MP4/JPG
説明	年月日	10:23:32 (録画開始日時)	001	フロント/リア	ファイル種別

! マイクロ SD カードの抜き差しを行うときは、必ず本体の電源をオフにしてから行ってください。電源を入れたまま行くとマイクロ SD カードの破損やデータ消失、本製品の故障が発生する場合があります。

! 本製品には SD カード変換アダプタやカードリーダーなどは付属していません。


! 連番は最後の保存ファイル番号からカウントされます。


4.4 ビューワーソフトでの再生

本製品で撮影した静止画を除く映像は、専用のビューワーソフト「Cardv Player」で再生することができます。

ビューワーソフトと、ソフトの取扱説明書は下記の弊社 Web サイトの「OEC-TY802FG-2C」の商品ページからダウンロードしてください。ダウンロードしたソフトを解凍後、画面の指示に従ってインストールしてください。

- 対応 OS : Windows 8.1 以降
- 弊社 Web サイト URL
<https://www.owltech.co.jp>

 ビューワーソフト「Cardv Player」は予告なく変更されることがあります。詳細は弊社 Web サイトを参照してください。

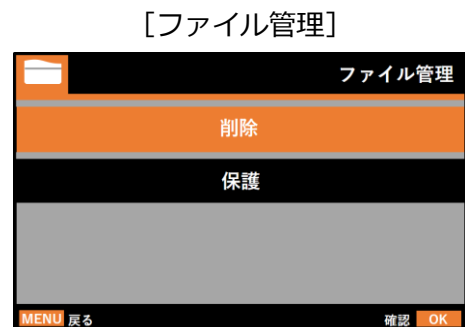
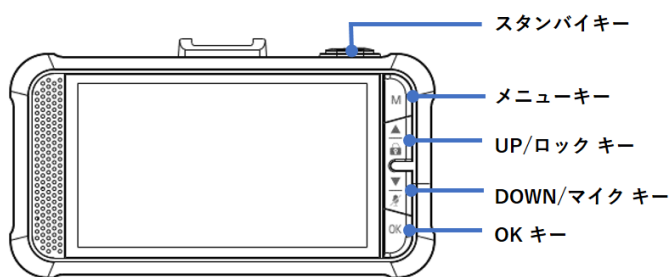
 macOS は非対応です。

5 消去する／保護する

5.1 ファイルの消去

ファイルの消去は、「ファイル管理」から行うことができます。保護されているファイルを消去する場合は、先にファイルの保護を解除する必要があります。『5.2 ファイルの保護／保護解除』（31 ページ）を参照してください。

- (1) 録画停止中に「メニュー」キーを3回押すと「再生モード」メニューが表示されます。
(録画中の場合は「OK」キーを押して録画を停止してください)
- (2) 「UP/ロック」キーと「DOWN/マイク」キーで目的のフォルダを選び、「OK」キーで決定してください。
- (3) 動画または写真のサムネイル一覧から削除するファイルを選び「OK」キーで決定してください。
- (4) 「スタンバイ」キーを押し、「ファイル管理」メニューを表示してください。
- (5) 「UP/ロック」キーと「DOWN/マイク」キーで「削除」を選択し、「OK」キーで決定してください。



- (6) 下記の項目が表示されます。「UP/ロック」キーと「DOWN/マイク」キーでいずれかを選択し、「OK」キーで決定してください。(1 ファイル毎に消去するか、閲覧中のフォルダ内の全てのファイルを消去するか選択できます)

項目	説明
このファイルを消去します	選択中のファイルを消去します。
全てのファイルを消去します	保護されていない全てのファイルを消去します。

- ❗ 保護されているファイルを消去する場合は、保護を解除してから消去してください。
⚠ 一度消去したファイルは復元できませんので、ご注意ください。

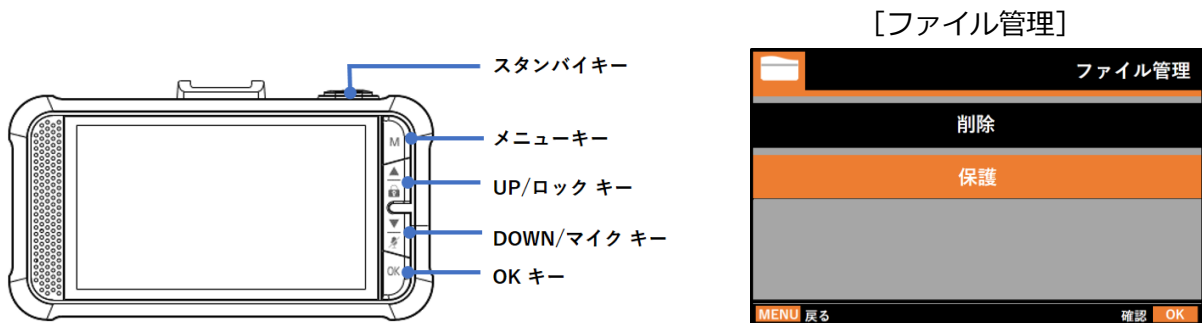
- (7) 消去前に確認メッセージが表示されます。「OK」を選択することでファイルが消去されます。
- (8) 消去が完了すると「ファイル管理」メニューに戻ります。消去を中止する場合は「キャンセル」を選択してください。

5.2 ファイルの保護／保護解除

録画されたファイルを手動で保護・保護解除することができます。保護した録画ファイルは、本機の実作中に誤って手動で消去することを防ぎます。(保護されているファイルを消去する場合は、事前に保護を解除する必要があります)

⚠️ フォルダ容量に空きがなくなった場合、「常時録画」「緊急録画」「保護録画」を問わず、ループ録画で上書きされます。ただし、常時録画を保護した場合は、ノーマルフォルダの25%を超えると、古いファイルから上書き録画されます。

- (1) 録画停止中に「メニュー」キーを3回押すと「再生モード」メニューが表示されます。
(録画中の場合は「OK」キーを押して録画を停止してください)
- (2) 「UP/ロック」キーと「DOWN/マイク」キーで目的のフォルダを選び、「OK」キーで決定してください。
- (3) 動画または写真のサムネイル一覧から保護/保護解除するファイルを選び「OK」キーで決定してください。
- (4) 「スタンバイ」キーを押し、「ファイル管理」メニューを表示してください。
- (5) 「UP/ロック」キーと「DOWN/マイク」キーで「保護」を選択し、「OK」キーで決定してください。



- (6) 下記の項目が表示されます。「UP/ロック」キーと「DOWN/マイク」キーでいずれかを選択し、「OK」キーで決定してください。(1ファイル毎に保護または保護解除するか、全てのファイルを保護または保護解除します。)

項目	説明
このファイルを保護	選択中のファイルを保護します。
このファイルを保護解除	選択中のファイルの保護を解除します。
全てのファイルを保護	全てのファイルを保護します。
全てのファイルを保護解除	全てのファイルの保護を解除します。

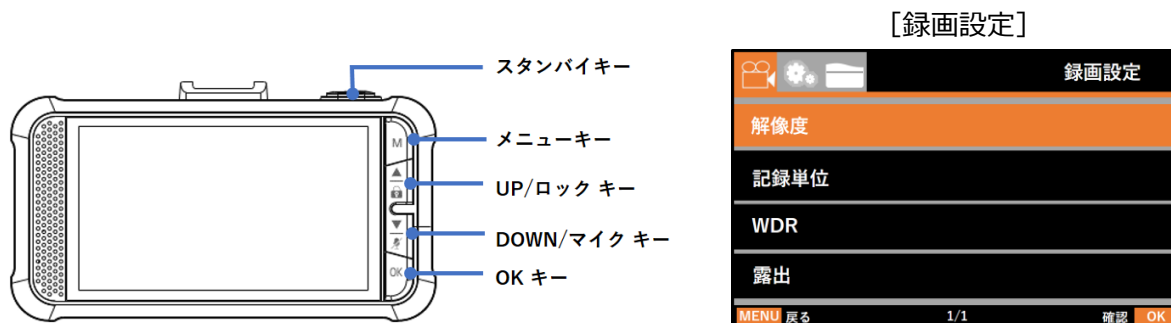
- (7) 保護/保護解除が完了すると「再生モード」メニューに戻ります。「メニュー」キーを押し、目的のファイルに「🔑アイコン」が表示または解除されていることを確認してください。

6 設定を変更する

6.1 録画設定メニュー

動画モードに関わる設定を変更できます。

- (1) 録画停止中に「メニュー」キーを押すと「録画設定」メニューが表示されます。
(録画中の場合は「OK」キーを押して録画を停止してください)



- (2) 「UP/ロック」キーと「DOWN/マイク」キーで変更する項目を選択し、「OK」キーで決定してください。
- (3) 変更する項目の詳細が表示されます。「UP/ロック」キーと「DOWN/マイク」キーで詳細項目を選択し、「OK」キーで決定してください。

<録画設定項目>

- 解像度【初期設定：FHD+FHD】
動画の解像度を設定します。

項目	説明
FHD	フロントカメラのみの状態で選択できます。 1920 x 1080p で記録します。
HD	フロントカメラのみの状態で選択できます。 1280 x 720p で記録します。
FHD+FHD (フロント/リア)	リアカメラが接続された状態で選択できます。 前後のカメラ共に 1920 x 1080p で記録します。
HD+HD (フロント/リア)	リアカメラが接続された状態で選択できます。 前後のカメラ共に 1280 x 720p で記録します。

❗ フロントカメラのみの状態は、リアカメラコードを外してご使用ください。

- 記録単位【初期設定：1分】
録画時間単位を設定します。1 ファイル毎に設定した時間で録画されます。マイクロ SD カードの容量に空きがないと、古いファイルから順次上書きを行い、自動的にループ録画を繰り返します。

項目	説明
1 分	1 分単位のループ録画を行います。
3 分	3 分単位のループ録画を行います。
5 分	5 分単位のループ録画を行います。

● WDR【初期設定：オン】

WDR をオンにすることで逆光やトンネルの出入口など、明暗が強い場合に画像補正を行い、鮮明な映像（画像）を録画します。

項目	説明
オフ	WDR をオフにします。
オン	WDR をオンにします。

⚠ 本設定はフロント・リアカメラ共に設定されます。個別の設定はできません。

● 露出【初期設定：0】

光量を調整して好みの露出（＝明るさ）で録画します。-2.0 ～ +2.0 の範囲で調整できます。

暗くしたい時 ←	標準	→ 明るくしたい時
-2.0 ～ -0.6	0	+0.6 ～ +2.0

⚠ 本設定はフロント・リアカメラ共に調整されます。個別での調整はできません。

● 音声録音【初期設定：オート】

録画と同時に音声を録音することができます。オートに設定すると、「常時録画」では音声録音を行わず、衝撃を検出すると自動的に音声録音を行います。

項目	説明
オン	録画中は常に音声録音を行います。
オフ	録画中は常に音声録音を行いません。
オート	常時録画では音声録音を行わず、衝撃を検出すると自動的に音声録音を行います。

● Gセンサー感度【初期設定：中】

衝突事故などの衝撃を検出してファイルを保護します。保護されたファイルはその後の「常時録画」（ループ録画）では上書きされません。

項目	説明
オフ	衝撃を検出しません。
低	大きな振動が起こると検出します。
中	中規模の衝撃が起こると検出します。
高	軽微な衝撃でも検出します。

⚠ 検出される度合いは車両や取付位置によって変わります。事前にテストを行い、ご希望の感度を設定してください。

● ドライバー情報【初期設定：未設定】

車のナンバープレート番号など、数字とアルファベットを最大9桁設定できます。設定した番号は記録した映像にスタンプとして重ねて記録でき、記録データの管理などにご活用いただけます。

「UP/ロック」キー、「DOWN/マイク」キーで文字/数字を選択し、「OK」キーで次の桁に移動します。入力後「メニュー」キーを押すと「録画設定」メニューに戻ります。

● 駐車監視 移行時間【初期設定：7分】

「駐車監視」に移行する時間を設定できます。『2.9 駐車監視』（24 ページ）を参考に設定してください。

項目	説明
5分	5分間振動がない場合に、待機状態になります。
7分	7分間振動がない場合に、待機状態になります。
10分	10分間振動がない場合に、待機状態になります。

⚠️ アイドリング中など自動移行しやすい場合は、10分に切り替えてご使用ください。

● スタンプ【初期設定：全てオン】

撮影時に下記の内容を映像に重ねて記録できます。

チェックボックス内にレ点があると有効となります。

チェックボックス内のレ点がないと記録しません。

項目	説明
日付/時刻	日付と時刻を映像に重ねて記録します。
ロゴ	ロゴを映像に重ねて記録します。
ドライバー情報	ドライバー情報で設定した内容を映像に重ねて記録します。
速度	GPS で受信した速度情報を映像に重ねて記録します。
GPS	GPS で受信した位置情報を映像に重ねて記録します。

⚠️ 一度記録されたスタンプは記録映像から消去することはできません。

● フロントインジケーター【初期設定：オン】

ドライブレコーダーが動作していることを知らせます。『インジケーター』（8 ページ）を参考に設定してください。

項目	説明
オフ	フロントインジケーターを無効にします。
オン	フロントインジケーターを有効にします。

● リアカメラ設定【初期設定：鏡像】（鏡像＝鏡に映った姿形）

LCD（液晶）画面に表示されるリアカメラの映像を設定します。設定は電源オフ後も保持されます。

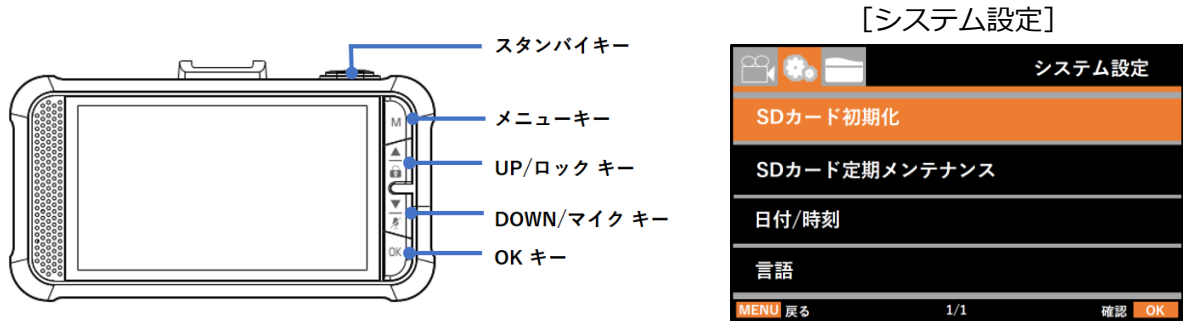
項目	説明
正像	LCD 画面への表示を正像にします。
鏡像	LCD 画面への表示を鏡像にします。

⚠️ 録画ファイルは設定に関わらず「正像」（＝目でみた姿形）で記録されます。

6.2 システム設定メニュー

共通の設定を変更できます。

- (1) 録画停止中に「メニュー」キーを2回押すと「システム設定」メニューが表示されます。
(録画中の場合は「OK」キーを押して録画を停止してください)



- (2) 「UP/ロック」キーと「DOWN/マイク」キーで変更する項目を選択し、「OK」キーで決定してください。
- (3) 変更する項目の詳細が表示されます。「UP/ロック」キーと「DOWN/マイク」キーで詳細項目を選択し、「OK」キーで決定してください。

<システム設定項目>

- SDカード初期化【初期設定：キャンセル】
マイクロ SD カードのフォーマットを行います。

項目	説明
キャンセル	マイクロ SD カードをフォーマットしません。
OK	マイクロ SD カードをフォーマットします。 (※重要※ マイクロ SD カード内の全てのデータが削除されます)

- SDカード定期メンテナンス【初期設定：オフ】
本製品でマイクロ SD カードを最後にフォーマットしてから1ヵ月(30日)経過した場合、下記の3つの項目から1ヵ月後の動作を選択できます。本機でマイクロ SD カードをフォーマットした日の翌日から起算し、30日以降に本機を起動すると、録画を開始する前に動作します。

項目	説明
通知のみ	お知らせの表示を行います。ボタンを押すと表示は消えますが、フォーマットを行うまで起動のたびに表示されます。
自動フォーマット	自動でマイクロ SD カードのフォーマットを行います。 (※重要※ マイクロ SD カード内の全てのデータが削除されます)
オフ	「お知らせ表示」や「自動フォーマット」を行いません。

- ⚠ この機能は、30日毎に「お知らせの表示」または「自動フォーマット」を繰り返します。
- ⚠ 「自動フォーマット」を選択した場合、30日毎に全てのデータが削除されます。削除されたしまったファイルなど、弊社ではその損害等に関して保証いたしかねます。

- 日付/時刻【初期設定：年月日】
本機の日時はGPSにより自動的に設定されるため、設定の必要がありません。ただしGPSが受信できないような環境でお使いの場合は、『1.13 日時の設定』(16ページ)を参照して、設定してください。

● 言語【初期設定：日本語】

メニューの言語を選択できます。

項目	説明
English	メニューを英語で表示します。
日本語	メニューを日本語で表示します。

● 表示切替【初期設定：メイン：フロント/サブ：リア】

リアカメラの画面表示位置を変更できます。『1.4 リアカメラの画面表示について』(9 ページ)を参考にして設定してください。

項目	説明
メイン：フロント /サブ：なし	フロントカメラのみを表示します。 リアカメラは表示しません。
メイン：リア /サブ：なし	リアカメラのみを表示します。 フロントカメラは表示しません。
メイン：フロント /サブ：リア	フロントカメラを大きく表示します。 リアカメラを小さく表示します。
メイン：リア /サブ：フロント	リアカメラを大きく表示します。 フロントカメラを小さく表示します。

● LCD省電力【初期設定：オフ】

動画モードで指定時間の間、無操作状態が続くと LCD 画面が省電力モードに切り替わります。録画中画面は消灯しますが、録画は継続されます。(録画中はインジケータが青色で点滅します) LCD 省電力モードから通常画面に復帰させるには、いずれかのキーを押します。

項目	説明
オフ	LCD 省電力モードを無効にします。
1 分	無操作状態が 1 分続くと LCD 省電力モードに切り替わります。
3 分	無操作状態が 3 分続くと LCD 省電力モードに切り替わります。
5 分	無操作状態が 5 分続くと LCD 省電力モードに切り替わります。

● 操作音【初期設定：オン】

キー操作時の音を設定します。

項目	説明
オフ	キー操作や動作に連動して音を鳴りません。
オン	キー操作や動作に連動して音が鳴ります。

● 設定の初期化

本製品の設定内容を初期状態に戻します。この初期化ではマイクロ SD カード内のデータは消去されません。

項目	説明
いいえ	初期化をキャンセルします。
はい	初期設定に戻します。

● FWバージョン

現在のファームウェアのバージョンを表示します。

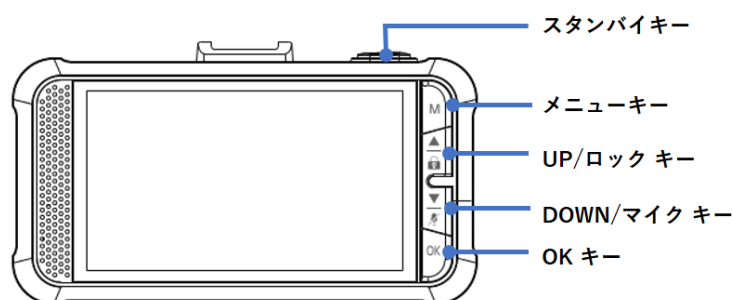
7 キー割当て

キー モード	キー割当て				
	メニュー	スタンバイ ※1	UP/ ロック	DOWN/ マイク	OK
■動画モード					
録画中	—	スナップ ショット	ファイル保護	マイク切替 表示切替※2	録画停止
停止中	メニュー 表示/非表示	—	—	マイク切替 表示切替※2	マニュアル 録画
■動画再生モード					
サムネイル 表示	戻る	—	前のファイルに 移動	次のファイルに 移動	1画面表示
1画面表示 (動画)	戻る	メニュー 表示/非表示	前のファイルに 移動 /再生中は早戻し	次のファイルに 移動 /再生中は早送り	動画再生/一時停止
■メニュー					
メニュー設定	戻る	—	上方向に 移動	下方向に 移動	メニュー 項目の決定

※1 「スタンバイ」キーは状態に関わらず、約2秒以上の長押しで「駐車監視」の待機状態となります。

※2 「DOWN/マイク」キーを長押しすると画面表示の種類が一時的に切り替わります。

変更を保持する場合は、システム設定の「表示切替」から行ってください。



8 故障かなと思ったら

弊社へお問い合わせいただく前にこちらをご確認ください。

また、下記に記載がない場合、弊社 Web サイトでもよくある質問をまとめています。

下記 URL を合わせてご確認ください。

【URL】 https://www.owltech.co.jp/sp_faq

8.1 電源がオン・オフにならない

- シガープラグコードは本製品付属のものですか？
- シガープラグコードは正しく GPS 内蔵ブラケットと接続されていますか？
- シガープラグコードの保護回路が作動している可能性があります。しばらく時間をおいてお試しください。併せて車側のヒューズもご確認ください。
- 本製品は、エンジンが始動している間は「スタンバイ」キーで電源をオフにすることができません。エンジン始動中に本製品の電源を完全にオフにするには、シガープラグコードをブラケットから取り外してください。取り外したミニ USB 端子は濡れる恐れがある場所や金属に接触しないように固定してください。

8.2 録画を開始しない

- 本体に電源は供給されていますか？
- マイクロ SD カードは正しく挿入されていますか？
- マイクロ SD カードに十分な空き容量があるか確認してください。
- マイクロ SD カードは、SDHC/SDXC 規格に適合した容量 128GB までの UHS スピードクラス 1 (U1) 以上の高速 SD カードですか？
- 上記事項を確認したうえで録画が開始されない場合は、マイクロ SD カードをフォーマットしてください。その際、必要があればフォーマット前にデータのバックアップを行ってください。

8.3 キーが反応しない、録画が勝手に停止する等、動作がおかしい

- 「リセット」キーを押して、本体をリセットしてください。
- マイクロ SD カードに不良セクタが発生している、または速度が遅いマイクロ SD カードを使用していると動作が止まる場合があります。一度、マイクロ SD カードをパソコン上でフルフォーマットするか、転送速度の速いマイクロ SD カードを使用してください。
- 長期間マイクロ SD カードを使用していた場合、マイクロ SD カードが劣化している可能性があります。新しいマイクロ SD カードとの交換をお試しください。

8.4 メモリーエラーが出る

- 使用中のマイクロ SD カードは、SDHC/SDXC 規格に適合した容量 128GB までの UHS スピードクラス 1 (U1) 以上の高速 SD カードですか？
- マイクロ SD カードは本製品でフォーマットを行いましたか？本製品は FAT32 形式以外のファイルシステムに対応しておりません。パソコンで exFAT 形式のフォーマットを行った場合は、再度本製品の「SD 初期化」を選択して、フォーマットをお試しください。
- フォーマットしたマイクロ SD カードを挿入しても、「SD カードを挿入してください」等の表示が消えない場合は、マイクロ SD カード自体に異常が起きている可能性があります。(内部のエラーまたは、端子面の汚れや劣化等) マイクロ SD カードのクリーニングまたは、本製品やパソコン上でフルフォーマットを行っても解決しない場合は、本製品に適した規格の新しいマイクロ SD カードと交換してください。

8.5 常時録画で映像が保存されていない

- 本製品は常時録画で録画したファイルを、ループ録画単位で 1 ファイル毎にノーマルフォルダへ保存しています。その際、マイクロ SD カードの指定容量に対してノーマルフォルダへの保存容量が全体の約 50% に達すると、古いファイルから順次上書き保存が行われます。16GB のマイクロ SD カードでは連続撮影時間が約 30~45 分で上書きが行われます。
- 「G センサー感度」の設定が「高」になっていませんか？G センサーが衝撃を検出した時のファイルは、イ

ベントフォルダに保存されます。イベントフォルダ内のファイルを確認してください。

- マイクロ SD カードを定期的にフォーマットしていますか？マイクロ SD カードは消耗品です。使用頻度に合わせて、1 カ月に 1 度を目安に定期的にフォーマットしてください。また、フォーマットに併せて、本製品が正常に動作しているか確認を行ってください。
- 短時間に本製品の電源のオン・オフを繰り返すと、マイクロ SD カードにファイルを保存することが間に合わず、録画ファイルが破損する恐れがあります。最低約 10 分程度は充電を行い、電源をオフにしてください。

8.6 録画した映像がぼやけている

- 各カメラのレンズに汚れや指紋が付いていませんか？汚れなどは乾いた柔らかい布で拭き取ってください。
- 車のフロント・リアガラスが汚れていないか、または、ワイパーの可動範囲外に本製品が取り付けられていないか確認してください。

8.7 停車中やアイドリング中に電源がオフしてしまう

- アイドリングで停車している状態が続くと、駐車状態と判断し自動的に「駐車監視」の待機状態に移行します。本製品は「駐車監視機能」をオフにすることはできません。頻繁に待機状態になる場合は、「駐車監視移行時間」の設定を 10 分に切り換えてご使用ください。
- アイドリングストップ機能などがある車両は、お車の環境により正常に動作しない可能性がございます。

8.8 地上デジタル放送や他の車載機器に影響がでる

- 本体やリアカメラ、ケーブルやコード類の配線を、地デジのテレビアンテナや ETC など他の車載機器からなるべく離して設置してください。

8.9 パソコンで映像が再生できない。またはスムーズに再生できない

- パソコンでの再生時には再生ソフトの「Cardv Player」をお使いください。弊社 Web サイトの商品ページからダウンロードいただけます。ダウンロードの詳細は「4.4 ビューワーソフトでの再生」(29 ページ)を参照してください。他のビューワーソフトをご使用の際には、ファイル形式が MP4 かつ再生コーデックが H.264 対応のビデオを再生できる仕様であるかを確認してください。
- 他のビューワーソフトを使用している場合は別ソフトへと変更し、再生をお試しくください。
- マイクロ SD カードのエラーや不良の可能性、カードリーダー等の転送速度の影響が考えられます。録画ファイルをパソコンにコピーし、パソコン上から録画ファイルを選択し再生をお試しくください。

8.10 日時がリセットされてしまう

- GPS 内蔵ブラケットが正しく本体に接続されていますか？
- GPS は正しく受信されていますか？GPS が正しく受信されるまでに、電源オンから約 1 分かかります。長期間使用しない、短時間の使用が多い場合など、スーパーキャパシタ（内蔵電池）が充電不足になり日時がリセットされることがあります。その場合は約 10 分以上充電してから、再度設定してください。

8.11 LCD 画面がしばらくすると消えてしまう

- LCD 省電力設定が有効の場合、録画中に設定時間が経過すると画面が消えます。LCD 画面を常に表示したい場合は、「システム設定」の「LCD 省電力」を「オフ」にしてください。

8.12 リアカメラが表示されない

- リアカメラのコードは正しくフロントカメラ本体に接続されていますか？
- リアカメラの画面表示が「フロントカメラのみ」になっていませんか？リアカメラの画面表示方法は変更できます。詳細は「1.4 リアカメラの画面表示について」(9 ページ)を参照してください。

8.13 駐車監視が設定された時間通りに動作しない。

- 設定された時間より先に、バッテリー電圧が保護電圧設定値に到達している場合がございます。車両側のバッテリーの状態や使用環境により時間は変わります。
- 待機中の消費電流が大きく車両のバッテリーへの負荷が大きい設定をご使用していませんか？

車両のバッテリーの容量や使用状況に合わせ、待機中の消費電力が小さくバッテリーへの負荷が少ない設定をお試しください。

8.14 駐車監視に移行しない。または復帰しない。

- 専用駐車監視ケーブルの設定がタイマー・オフでないことを確認してください。
- 駐車監視に移行しない場合は、「駐車監視 移行時間」の設定を短い時間に変更してください。
- 振動が少ない状況では駐車監視の待機状態から復帰しない場合があります。あらかじめご了承ください。

8.15 専用駐車監視ケーブルを使用しており、電源がオン・オフにならない

- 車両の ACC 電源や BATT 電源の配線等に接続されていますか？（車両側の配線は、取り付け作業を行った専門店等に確認のご依頼をお願いします）
- 車両のバッテリーの充電が不十分である、または劣化していませんか？エンジンを始動しバッテリーへ充電を行い、専門店等に点検をご依頼ください。

8.16 SD カード定期メンテナンスが正常に動作しない。

- マイクロ SD カードをフォーマットした日付は、内蔵電池によりデータを保持されます。長期間使用しない場合等は、内蔵電池が消耗し保持データがリセットされてしまう場合があります。再度約 10 分以上充電を行ってからマイクロ SD カードのフォーマットを行ってください。

製品に関するお問い合わせ

製品の取扱方法、修理等に関するご相談は、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

ただし、シガープラグコード以外の取付作業等に関して、サポートは行っておりません。

車両をご購入された販売店、ドライブレコーダーの取付作業をご依頼した専門店へご相談をお願いいたします。

【お問い合わせ先 URL】

<https://www.owltech.co.jp/contact-support>

上記アドレスのメールフォームより必要事項を記載のうえ、お問い合わせをお願いいたします。

- メールフォームは、24時間365日受付しておりますが、ご返信はサポートセンターの受付時間内となります。
- 休日をはさむ場合や混雑している時間帯により回答に数日を要する場合がございます。
- お問い合わせの際に【製品型番・製品シリアル番号（本体にシールで記載）・購入日・購入店舗】の情報を確認させていただきます。事前にご準備いただきますようご協力をお願いいたします。

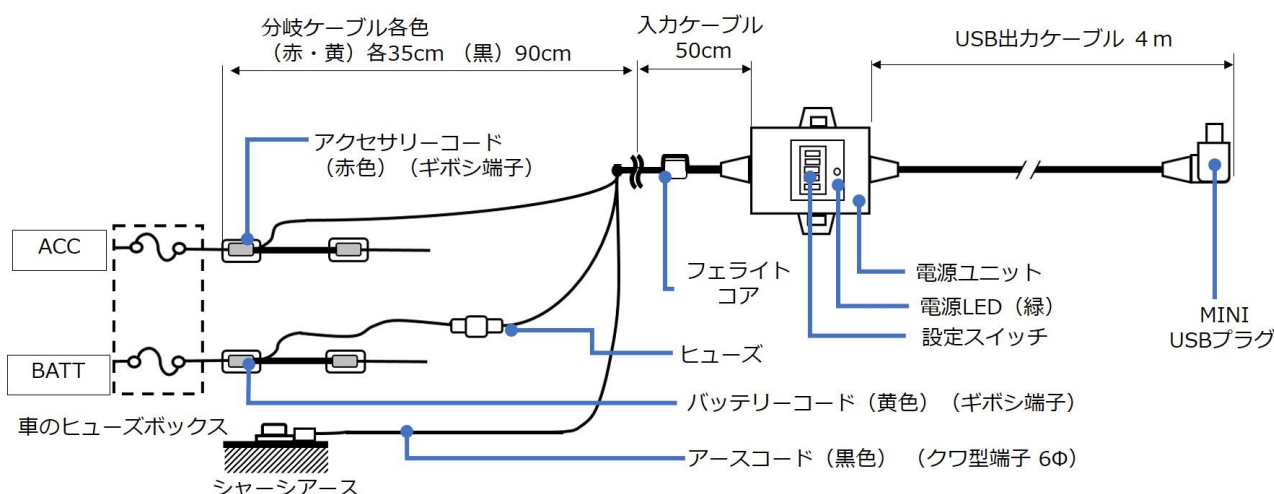
※上記アドレスは、弊社の都合により変更となる場合がございます。

その際は、弊社 Web サイトのサポートセンターの案内に従いお問い合わせください。

弊社 Web サイト：<https://www.owltech.co.jp>

9 付録 専用駐車監視ケーブル（別売）のご案内

9.1 駐車監視ケーブルの設定方法



専用駐車監視ケーブルは、車両のヒューズボックス等に接続し、エンジン停止後も電力を供給することができるケーブルです。電源ユニットの設定スイッチから下記の2つの設定が行えます。

本製品と対応する駐車監視ケーブルは、【OWL-DRCB2-MINI】となります。

詳細は下記の弊社 Web サイトから「OWL-DRCB2-MINI」 / 「OEC-TY802FG-2C」の商品ページでご確認ください。

弊社 Web サイト URL : <https://www.owltech.co.jp>

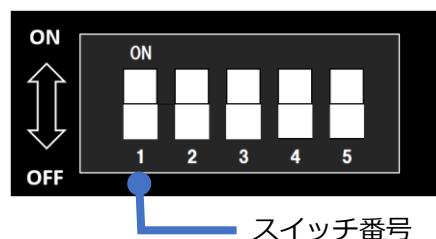
● 停止電圧値設定

エンジン停止時に車両のバッテリー電圧が停止電圧値より低下した場合、ドライブレコーダーへの電源供給が停止します。

● 出力停止タイマー設定

エンジン停止 (=ACC電源のオフ) してから、出力停止タイマーで設定した時間が経過すると、自動的にドライブレコーダーへの電源供給が停止します。出力停止タイマーが動作中に、エンジンが始動 (=ACC電源のオン) するとタイマーが解除されます。

また、出力停止中の場合は電源供給が再開します。



停止電圧値設定			出力停止タイマー設定			
スイッチ番号	1	2	スイッチ番号	3	4	5
12.6 V / 24.6V	OFF	OFF	タイマー・オフ	OFF	OFF	OFF
12.4V / 24.4V	OFF	ON	1 時間後	OFF	OFF	ON
12.2V / 24.2V	ON	OFF	3 時間後	OFF	ON	OFF
12.0V / 24.0V	ON	ON	6 時間後	OFF	ON	ON
【初期設定】 ● 停止電圧値設定 : 1=ON、2=OFF ● 出力停止タイマー : 全て OFF			12 時間後	ON	OFF	OFF
			18 時間後	ON	OFF	ON
			24 時間後	ON	ON	OFF
			30 時間後	ON	ON	ON

<駐車監視を使用しない方>

ドライブレコーダーをエンジン始動と停止に合わせて動作させる場合は、出力停止タイマー設定を初期設定のままご使用ください。(スイッチ番号 : 3=OFF、4=OFF、5=OFF)

10仕様

製品名		OEC-TY802FG-2C	
フロント カメラ仕様	映像素子	1/2.8 型 CMOS センサー	
	総画素数	約 200 万画素	
	有効画素数	約 200 万画素	
	レンズ F 値	F1.4	
	視野角	対角 136° (水平 : 110° / 垂直 60°)	
	逆光補正	WDR	
	記録解像度	動画	最大 1920 × 1080p (FHD)
静止画 ^{※1}		最大 1920 × 1080 (FHD)	
リア カメラ仕様	映像素子	1/2.9 型 CMOS センサー	
	総画素数	約 200 万画素	
	有効画素数	約 200 万画素	
	レンズ F 値	F1.8	
	視野角	対角 131° (水平 : 111° / 垂直 59°)	
	逆光補正	WDR	
	記録解像度	動画	最大 1920 × 1080p (FHD)
		静止画 ^{※1}	最大 1920 × 1080 (FHD)
コード仕様		約 8m (USB Type-C - microUSB)	
フレームレート		30.0fps	
記録方式	動画	MP4(H.264)	
	静止画 ^{※1}	JPEG	
画面サイズ		3.0 インチ LCD	
記録メディア		SDHC/SDXC 規格 microSD カード(128GB まで対応) ※UHS スピードクラス 1 (U1) 以上 / microSD カード 16GB (U1) 付属	
映像・音声出力		非対応	
GPS	対応	GPS・みちびき対応	
	形状	ブラケット内蔵	
ブラケット		テープ貼り付けタイプ 電源入力 : miniUSB (5V/1.0A)	
本体電源入力 / 内蔵電源		ブラケットより供給 / スーパーキャパシタ	
シガープラグコード	入力	12V / 24V 入力 (マイナスアース)	
	出力	miniUSB (5V/1.5A) /USB Type-A (5V/1A) ^{※2}	
	コード長	約 4m	
動作温度範囲		-10℃ ~ 55℃	
外形寸法 (W × D × H)	本体	約 97 × 38 × 54mm (ブラケット装着時 : H117mm)	
	リアカメラ	約 57 × 28 × 56 mm (ブラケット含む)	
重量	本体	約 91g (本体のみ)	
	リアカメラ	約 28g (ブラケット含む)	
その他		LED 信号機消滅問題対策済み 地デジ妨害対策実施済み	

※1 静止画は録画停止中では撮影できません。撮影時の画像サイズは録画中の解像度となります。

※2 急速充電等には非対応です。また、全てのスマートフォンでの動作保証はしていません。

■録画時間の目安

マイクロSDカードの容量に対する録画時間の目安を示します。

下記の時間は、各フォルダ（ノーマル、イベント、写真）を合わせた時間となります。

録画機能の詳細については『2 録画する』（19 ページ～）を、解像度の変更は『6.1 録画設定メニュー』（32 ページ）を参照してください。

解像度	記録サイズ	16GB	32GB	64GB	128GB
FHD	1920 × 1080p (フロントカメラのみ)	約 120 分	約 240 分	約 480 分	約 960 分
HD	1280 × 720p (フロントカメラのみ)	約 200 分	約 400 分	約 800 分	約 1600 分
FHD/FHD (フロント/リア)	1920 × 1080p (前後カメラで動作)	約 60 分	約 120 分	約 240 分	約 480 分
HD/HD (フロント/リア)	1280 × 720p (前後カメラで動作)	約 100 分	約 200 分	約 400 分	約 800 分

⚠ 記録時間は目安であり保証するものではありません。SDカードの空き容量がない場合、「ノーマル」フォルダ約 50%、「イベント」フォルダ約 50%になるように古いファイルからループ録画で上書きされます。「ノーマル」フォルダのファイルをすべて保護した場合は、保護ファイルが 25%になるまで古いファイルからループ録画で上書きされます。

⚠ 本製品は exFAT 形式のフォーマットには対応しておりません。新品やパソコンでフォーマットした 64GB 以上のマイクロSDカードを使用する場合は、本製品でフォーマットしてください。

❗ フロントカメラのみで使用する場合は、リアカメラコードを外して使用してください。

1. 保証について

- 保証書は記載内容を確認のうえ、大切に保管してください。保証期間はご購入日より1年間です。
- 本製品の保証は、日本国内での使用に限ります。
- 開梱直後に故障または不具合が発生した場合は、販売店捺印のある本保証書か、それに代わるレシート、または納品書等をご用意の上、販売店または弊社サポートセンターへお問い合わせください。
- 以下保証規定に従った内容で無償修理または無償交換いたします。保証期間経過後の修理に関しましては有償修理または有償交換となります。

2. 保証規定

この保証書は正しい使用方法に従ったうえで起きた故障で、保証期間内であることが認められた場合に限り、無償で修理または交換を保証するものです。また適用範囲は本体・リアカメラ・シガープラグコードのみであり、マイクロSDカード、リアガラス用ステッカーなどの消耗品や付属品は保証の対象外となります。カメラユニットを車外に取り付けた場合は保証の対象外となります。保証期間内であっても次の各項に該当する場合は、保証対象外または有償対応となります。

- 使用上又は取付け時の誤り及び弊社以外での修理、分解、調整、改造による故障及び損傷。
- ご購入後の落下、不適當な取付けなど、自損や不当な取り扱いによる故障及び損傷。
- 火災・地震・落雷・水害・その他の天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷。
- 故障の原因が本製品以外（他の電子機器など）にあって、それを点検修理した場合。
- 本保証書のご提示が無い場合及び本保証書に購入年月日・お客様名・販売店名の記載が無い場合。
- 本保証書に記入された事項を許可無く書き換えた場合。
- 機能上問題の無い小傷、液晶画面のドット抜け、及び箱などの軽微な傷や汚れ等。
- 製品を使用できなかったことへの対価、取外しや販売店への搬送など直接或いは間接的に発生する手間等の対価。
- 高温・高湿度環境下での使用及び、ほこりやごみの付着・虫などの侵入を原因とする故障など。
- 並行・個人輸入品、個人売買、オークション、中古販売及び譲渡等により本製品を入手した場合など。

品名/型番	ドライブレコーダー / OEC-TY802FG-2C	
ご購入年月日	年 月 日	
保証期間	ご購入日より1年間	
保証対象	本体・リアカメラ・シガープラグコード ※※取付け・取外し作業にかかる燃料・部品代・工賃等は保証対象外※※	
お客様	ご氏名	保証書無効
	ご住所	
	電話番号	
TEL: ()		
販売店	販売店印・レシート	
		印

* 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
 * 本書は、本記載内容で無償修理・交換をさせていただくことをお約束するものです。本保証書にご購入店の捺印が無い場合は購入レシート等で代用可能ですので、必ずレシートは本保証書と一緒に大切に保管してください。

株式会社オウルテック
 〒243-0422 神奈川県海老名市新田5-24-1
 webサイト <https://www.owltech.co.jp>
 web 内のメールフォームよりお問い合わせください。
 保証適用の際は購入履歴が必要となります。
 ☎046-236-3522 平日10時～12時 / 13時～18時
 F-T190055-01B